

はじめに

皆様方におかれましては、かねてからかごしま県民大学中央センターの事業推進に御協力をいただき感謝申し上げます。

当センターは、「いつでも どこでも だれでも 県下全域を生涯学習のキャンパスに」をスローガンに掲げ、生涯学習に関する調査研究、学習機会や学習情報の提供、視聴覚サービス、放送大学の支援等を行ってきております。

現在、人口減少や少子高齢化、グローバル化の進行など急激に変化する我が国の社会情勢に対応するための新たな制度やシステムの構築が求められております。本県では、鹿児島県教育振興基本計画を基本とした「鹿児島県教育大綱」が昨年12月に決定され、『未来を拓く鹿児島の人づくり ふるさとを大切に、世界へはばたく人材を育成する～ひっとべ 鹿児島の教育』を基本目標に、基本方針に即して、生涯学習社会へ向けた環境づくりを目指すこととしております。

当センターにおきましても、子供から大人まで全ての県民が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、あらゆる機会にあらゆる場所で学ぶことができ、その成果を適切に生かすことができる生涯学習社会の構築を目指し、多様化・高度化する県民ニーズに対応するための様々な取組を行っております。

今年度から、新たに、創作文化活動の学習成果を発表する場としての「生涯学習ふれあい展示」や、受講者のニーズに対応したビデオ編集を学習する「レベルアップ講座」を実施いたしました。いずれも参加者の主体的な学習が促進され、参加者同士の交流の場になったと好評で、課題解決の一助となったのではと考えております。当センターの主催講座や事業をプラットフォームとして、各地域での生涯学習の和が広がり、深まっていくことを期待しております。

本報告書は、当センターの平成27年度事業の概要及び主催講座受講者の学習歴活用状況等を含め、成果と課題を明らかにしたものです。今後の事業推進の参考資料として御活用いただけましたら幸いです。

なお、平成28年3月をもって視聴覚フロアの事業を終了することとなり、総括するページを記載いたしました。これまで、多くの方々に御利用いただきましたことを改めて感謝申し上げますとともに、これからも、県民に親しまれ、利用される生涯学習の中核施設としての機能をさらに充実してまいりたいと考えております。

最後に、本報告書を作成するに当たり、多大な御尽力、御協力を賜りました関係者の皆様並びに各関係機関に深く感謝申し上げますとともに、今後とも御支援・御指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年3月

かごしま県民大学中央センター
所 長 諏訪原 裕 子

目 次

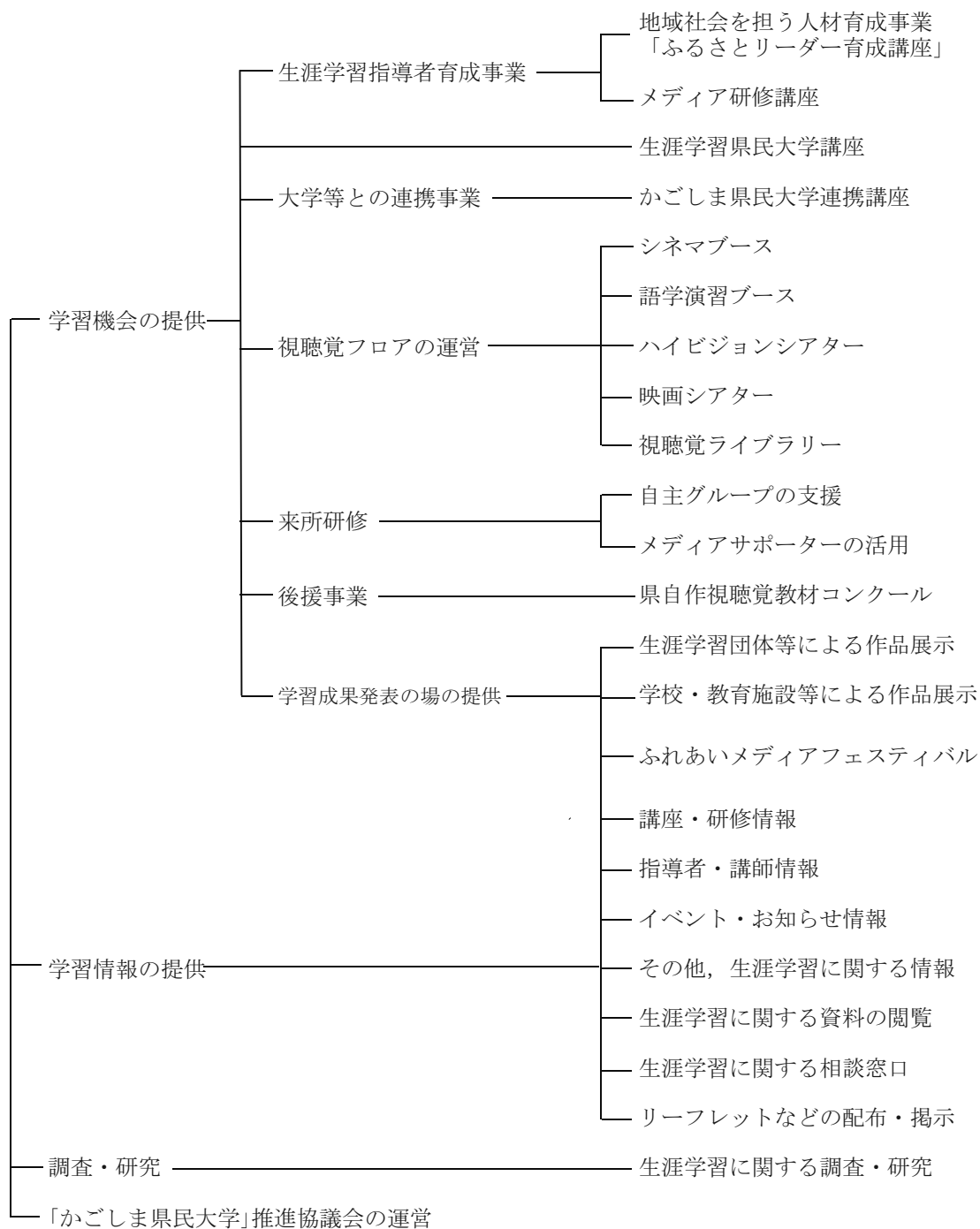
はじめに	-----	1
目次	-----	2
I 事業体系	-----	4
II 学習機会の提供		
1 地域社会を担う人材育成事業「ふるさとリーダー育成講座」	-----	5
[基礎講座]		
1 趣旨		
2 主催		
3 内容		
4 個人テーマ		
[レベルアップ講座]		
1 内容		
2 生涯学習県民大学講座	-----	11
1 趣旨		
2 主催		
3 内容		
4 概要		
5 その他		
6 講座一覧及び受講者数		
7 テーマ及び内容別受講者数		
8 受講者の居住地		
9 受講者の年齢及び性別		
10 講座チラシ入手先		
11 講座の評価		
12 各講座の概要		
3 かごしま県民大学連携講座	-----	29
1 概要		
2 講座内容等一覧		
3 成果・課題及び受講者の感想		
4 講座の様子		
5 総括		
4 メディア研修講座	-----	36
1 概要		
2 講座内容・実施状況		
3 受講者の感想等		
5 視聴覚フロアの運営	-----	39
1 シネマブースの運営		
2 ハイビジョンシアターの運営		
3 映画シアターの運営（ファミリー映画会・アニメシアター・平日映画会）		
4 利用者の感想		
6 来所研修	-----	41
1 趣旨		
2 対象及び内容		
3 実施日		
4 成果		

Ⅲ 学習情報の提供	
1 学習成果発表の場の提供	----- 4 2
1 生涯学習団体等の作品展示（生涯学習ふれあい展示）	
2 生涯学習団体の作品展示（6階展示コーナー）	
3 「ふれあいメディアフェスティバル」	
2 指導者・講師情報の提供	----- 4 7
1 目的	
2 指導者・講師情報の登録者	
3 指導者・講師情報の利用方法	
4 指導者・講師情報の活用事例	
3 その他の情報提供	----- 4 8
1 生涯学習情報コーナー	
2 生涯学習だより	
3 視聴覚ライブラリー	
4 ホームページによる情報提供	
Ⅳ 調査・研究	
1 主催講座等の修了者の受講後の活動状況	----- 5 1
1 「平成26年度ふるさとリーダー育成講座」修了者の受講後における活動状況	
2 メディア関係の講座受講者の活動例	
3 「来所研修」利用の自主グループの活動例	
2 県内の生涯学習推進状況調査	----- 5 6
1 調査の概要	
2 調査結果	
3 学習ニーズ調査について	----- 5 7
1 調査の目的	
2 調査の概要	
3 調査結果	
Ⅴ 「かごしま県民大学」推進協議会	----- 5 9
1 趣旨	
2 開催日時	
3 開催場所	
4 委員	
5 議長	
6 協議のテーマ	
7 協議の項目	
8 主な意見(抜粋)	

※ 次ページ以降の凡例 「中央センター」→ かごしま県民大学中央センター
「交流センター」→ かごしま県民交流センター

(注) 調査結果等に示す割合は、小数第2位を四捨五入したため、合計が100%と一致しない場合があります。

I 事業体系



(参考) 平成27年度主催講座の講座数及び受講者数

事業	平成26年度		平成27年度	
	講座数	受講者数	講座数	受講者数
人材育成講座	4 講座	103 人	4 講座	84 人
生涯学習県民大学講座	28 講座	934 人	26 講座	856 人
かごしま県民大学連携講座 (A)	65 講座	8,327 人	53 講座	5,178 人
メディア研修講座 (B)	17 講座	991 人	15 講座	744 人
(A), (B)を兼ねて実施した講座	(4)講座	(341)人	(4)講座	(296)人
合計	110 講座	10,014 人	94 講座	6,566 人

II 学習機会の提供

1 地域社会を担う人材育成事業 「ふるさとリーダー育成講座」

[基礎講座]

1 趣旨

生涯学習で学んだ成果を生かし、郷土愛や地域の連帯感を育み、21世紀の鹿児島を担う子どもたちを育成できる人材や郷土かごしまの情報発信の一翼を担う人材を育成する。




2 主催

かごしま県民大学中央センター

3 内容

(1) 目的

「ふるさとのおよさ」を、自ら見つけ、学び、発信し、次世代に伝えることができる実践力を身に付けた、市町村等の地域における生涯学習リーダーとしての人材を育成する。

	基礎講座	主な内容	
内 容	受講者が基礎的な知識や技術等を習得するための事例学習、講話、フォーラム等の体験的なプログラムなど	第1回 開講式、事例学習、講話、ワークショップなど 第2回 事例学習、フォーラム、講話、現地研修 など 第3回 プレゼンテーション、フォーラム、講話 など	
講座数	3講座(各3回)		
会場数	3会場(交流センター、大隅地区、熊毛地区) ・かごしま県民交流センター・大隅地区(鹿屋市中央公民館)・熊毛地区(中種子町中央公民館)		
対 象	市町村教育委員会が推薦する者(全3回出席できる方)		
定 員	各講座15人程度		
受講料	無料		
講 師	5人(大学等教員1, 民間3, 県職員1)		
現 地 研 修	〈交流センター会場〉 ↓ Lab蒲生郷(始良市)  <p>自分の町の良さを見つけた地域住民参加型のまちづくり。</p>	〈大隅地区会場〉 ↓ 柳谷自治公民館(鹿屋市)  <p>地域の将来を見据えた活動、生産性のある地域づくり。</p>	〈熊毛地区会場〉 ↓ なかわり生姜山農園(西之表市)  <p>小学校跡地を拠点とした集落名に由来のある「生姜」栽培を軸とした地域おこし。</p>

(2) 受講者数

講 座	受講者数(人)	各回受講者数(人)			修了者数(人)
		1回	2回	3回	
交流センター会場	17	17	16	15	15
大隅地区会場	16	14	13	13	14
熊毛地区会場	15	15	12	12	15
合 計	48	46	41	40	44

〈基礎講座 開講式〉





(4) 各回の講座内容

	時 間	交流センター会場	大隅地区	熊毛地区
第1回/①～⑦	10:00～16:00	8月1日(土)	9月5日(土)	10月3日(土)
第2回/⑧～⑬	10:00～16:00	8月2日(日)	9月6日(日)	10月4日(日)
第3回/⑭～⑲	10:00～16:00	8月22日(土)	9月26日(土)	11月21日(土)

回	プログラム	講座の様子
	<p>① 開講式, オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央センター所長あいさつ ・講座の説明等 	<p>①</p>  <p>[県民交流センター会場] [大隅地区会場] [熊毛地区会場]</p>
	<p>② 事例学習 1</p> <p>生涯学習支援状況等の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かごしま県民大学中央センター 社会教育主事兼専門員：中川 辰也 ・大隅教育事務所指導主事：喜岡 達也 ・熊毛教育事務所指導主事：木原 正博 <p>③ プレゼンテーション 1</p>	<p>② 生涯学習支援状況</p>  <p>自主グループの育成には、特に力を入れています。グループを立ちあげることができますよ。</p> <p>③ 受講者自己紹介・目標等披露</p>  <p>指笛という鹿児島南国の文化を未来に伝えたいです。</p>
第1回	<p>④ 講話 1</p> <p>「ふるさとの良さを学び伝えることの意義と目的について」</p> <p>～信頼から生まれる関係性～</p> <p>○ 金子 満(鹿児島大学教育学系准教授)</p>	<p>④ 生涯学習に関する基礎的考え方</p>  <p>ふるさとのよさを傳承し、次世代につないでいけるような活動、教育が活発に、展開することを期待したい。</p>
	<p>⑤ 事例学習 2</p> <p>「行政機関と連携した企画運営に関する実践事例」</p> <p>～行政の活用, 企画運営～</p> <p>○ 牧 悦朗(NPO法人NPOかごしまネットワーク会議理事長)</p>	<p>⑤ 実践事例紹介</p>  <p>NPOかごしまネットワーク会議を立ちあげ、行政等と連携した活動を行っています。</p>
	<p>⑥ ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画書の作成 	<p>⑥ 活動したいことを企画書にまとめる</p> <p>様々な考えをもち、色々な事に取り組まれているんだな。</p>  <p>予算や広報はどうしていこうかな。</p>
	<p>⑦ フォーラム 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質疑, 意見交換, まとめ 	<p>⑦ お互いの企画の紹介と全体での質疑・意見交換</p>  <p>一人でやろうとすると負担となります。いい繋がりをつくり、多くの人の手を借りることは、重要なキーワードとなります。</p>

[受講者の感想]

- ・ 講座に参加されている方々が、地域で何かしらの活動や強い思いを持っておられることに共感を覚えたり、刺激を受けたり、また、勇気や元気をいただいた。
- ・ 講師の先生方の講話が具体的でとてもよく理解できた。
- ・ このような企画書のまとめ方があるとは知らなかった。今後の活動に利用したい。

回	プログラム	講座の様子
第 2 回	⑧ オリエンテーション ・ 日程，講座の説明等	⑨ 企画運営に関する実践事例 ・ 選ばれる地域に大切なもの ・ 選ばれる地域とは ・ まちづくりで大切なこと ・ まちづくり支援のこれまでの実践と取組について ・ 自分の企画「まちあるき」の取組について ⑩ 鹿児島市や姶良市（蒲生）鹿屋市，種子島のそれぞれの特色（よさ）について説明  <p>私たちのまちはこんなに魅力的な所だったんだ。気付かなかったなあ。東川さんよく知ってる。</p>
	⑨ 事例学習3 ・ 企画，運営に関する実践事例 ○ 東川 隆太郎（NPO法人かごしま探検の会代表理事）	
	⑩ 講話2（地域のよさについての学習） ○ 東川 隆太郎	
	⑪ フォーラム2 ・ ⑨⑩をもとにした質疑・意見交換	
	⑫ 事例学習4 現地研修（各3会場） ○ 県民交流センター会場 ～共生協働のまちづくり～ 講師 藤谷 亜太可 （NPO 法人 Lab 蒲生郷理事長） ○ 大隅地区会場 ～行政に頼らない感動の地域づくり～ 講師 豊重 哲郎 （鹿屋市串良町柳谷自治公民館館長） ○ 熊毛地区会場 ～生姜づくりで元気づくり～ 講師 遠藤 裕未 （一般社団法人なかわり生姜山農園事務局長）	
⑬ 現地研修のまとめ ○ 東川 隆太郎 （NPO 法人かごしま探検の会代表理事）	⑬  <p>地域づくり活動ってこれから始める所はないんですよ。必ずどこにも地域の積み重ねがある。そういうものを一度検証してみる事が大事。この活動はどうだったかな。その上で次どんなことをしていこうかな・・・と考えてみる事です。</p>	

[受講者の感想]

- ・ 東川先生の話はとても分かりやすく，実践例でより理解度を深めることができた。また，豊富な内容で，もしかしたら，自分たちもすぐに実施できるのではと思う事案がいっぱい出てきた。
- ・ 現地で体験に基づいた実践の話をして聞いて良かった。苦労や努力が分かり，話に引き込まれた。

回	プログラム	講座の様子
第 3 回	⑭ オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 日程，講座の説明等
	⑮ 受講者プレゼンテーション2 <ul style="list-style-type: none"> 活動発表の紹介，意見交換 金子 満(鹿児島大学教育学系准教授)	<ul style="list-style-type: none"> 企画書をもとに自己の実践計画を発表する。 各発表者に対する質問や感想，意見などを付箋紙に書く。  
	⑯ フォーラム3 (⑮に基づく質疑，意見交換) [コーディネーター] 金子 満(鹿児島大学教育学系准教授)	<ul style="list-style-type: none"> 付箋紙に書かれている内容も含めて相互に意見を出し合う。 金子先生からの一人一人への質問及びアドバイス  <div data-bbox="1182 658 1445 869" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>色々な意見を多くの方にいただき嬉しいです。</p> </div>
	⑰ 講話3 <ul style="list-style-type: none"> まとめ，実践に向けた助言 ～活動や実践から学ぶ～ 金子 満(鹿児島大学教育学系准教授)	 <div data-bbox="807 920 1453 1155" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>みなさんの一つ一つの実践に学びが存在します。まずは、行動し、そして振り返りましょう。その繰り返しで知を形成します。その知を広げたり、伝えたりすることがとても大切です。ふるさとは、みなさんの力によって支えられているのです。</p> </div>
	⑱ アンケート記入	
⑲ 閉講式 <ul style="list-style-type: none"> 修了証書授与 <ul style="list-style-type: none"> 修了証書授与 中央センター所長あいさつ 諸連絡 	<ul style="list-style-type: none"> 修了証書授与    <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> [県民交流センター会場] [大隅地区会場] [熊毛地区会場] </div>	

[受講者の感想]

- ・ みなさんのプレゼンを聞いていると，アイデアや参考となる考えをいくつもいただけた。
- ・ 金子先生の，プレゼン者全員への的確なアドバイスや問題提起など，思いもしないことや考えてもいない事など，丁寧な説明に一つ一つ共感したり納得したりした。

[その他]

- ・ 色々な方から，自分の企画に対する意見を聞けた。また，参加者とのコミュニティが繋がった。
- ・ プレゼンテーションがあり，自分の意見を人前で話す機会を得た。
- ・ 実際に現地研修に行き，直接様子を見たり，話を聞けたりした。
- ・ 具体的で深い講話が良いヒントにあふれていた。多岐にわたって意識していなかったことを学ぶことができた。

4 個人テーマ（基礎講座修了時）

目的・主旨等	内 容	人数
集落機能の維持，コミュニティ作り，イベント企画など	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人と地域がつながる場作り。地域の組織とつながる夏祭り（鹿児島市） ・甲突町と新寿会の両老人クラブで連携した甲突川散歩道の花壇の手入れ（鹿児島市） ・地域住民への「福祉力」の向上。高齢者に対する見守りネットワーク活動の充実（鹿児島市） ・自然探訪「坂元・吉野の川辺歩き」（鹿児島市） ・レクレーションやお茶を飲んで楽しんでもらう「いきいきサロン」の実施（日置市） ・みんなが笑顔で暮らせる地域づくり（ほっぺクラブ，いきいきサロン）（日置市） ・互いに助け合う地域づくり。赤水地区を楽しむ（霧島市） ・花岡，魅力再発見マップ作成，グループの立ちあげ（鹿屋市） ・地元の自然で地域おこし（過疎・高齢化した地域の活性化）（曾於市） ・婦人会（おごじょ会）活動の活性化（地域の宝としての構築）（大崎町） ・地元の経済・地域性の活性化を促す（地産地消，地元特産品，加工商品の開発）（大崎町） ・ボランティアガイドを通じた地域の活性化（ボランティアガイド，コースづくり）（大崎町） ・錦江町田代川原地区の「六月灯祭り」の活性化（錦江町） ・「前田コミュニティ協議会（仮称）」の設立（肝付町） ・青年団活動の公開と青年団主催の行事への参加の呼びかけ（青年団主催行事を通じた，地域と一体となった活動）（西之表市） ・街のクリーンアップ活動（活動の輪を各団体，市民へ広げる青年団活動）（西之表市） ・青年団の活性化で町に元気を！（町全体を元気に盛り上げる活動）（中種子町） ・ちびっこフェア（子どもたちが楽しむための時間，場所づくり）（中種子町） ・中種子町観光開発による地域活性化（通過型観光地から民間宿泊地へ）（中種子町） ・スポーツクラブの活動を通じた（シニア世代）地域ボランティアの継続的取組（中種子町） ・地域の人たちが足を運びたいくなるような公民館づくり（高齢者の引きこもりを防止。楽しく暮らせる地域（南種子町） ・地域サロンの立ちあげ（一人暮らし，不便を感じている方のサポートや生きがいがづくり）（南種子町） ・集い，語りから始める地域の活性化（困っている事，不足している事を，よりよい町づくりに繋げる）（南種子町） 	23人
次世代への継承，青少年教育，仲間作り，活動の拡大など	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島弁の継承（与論の方言採取，高齢者，小・中学生を対象にした活動）（鹿児島市） ・悩み相談「心の止まり木」の活動を通じた心の癒やしの場づくり（日置市） ・健康の維持（ベビーリンパ，スキンシップリンパ，リンパ体操）（南九州市） ・神野地区の市民講座，高齢者大学への出前講座の実施と地区のニーズ調査（鹿屋市） ・町づくりは人づくり。地域活性化は若者から（若者を中心とした校区公民館づくり）（垂水市） ・学校応援団の推進活動（志布志市） ・楽しく食を知ろう（子どもたちへ食の大切さ，ふるさとへのよさを伝える）（大崎町） ・遊びの学校「わんぱーく」を通じた伝承遊び，創作遊びの継承（大崎町） ・わが町の地域活性（民泊の受入制の確立）（南種子町） 	9人
調査・研究とその発表，観光資源としての発信など	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産を産んだ上町。維新まちづくりプロジェクトでまち歩きボランティア活動（鹿児島市） ・郡山地域観光ガイドボランティアの育成（鹿児島市） ・「残していきたいかごつま弁」の活動を通じたかごつま弁の調査，寸劇披露（鹿児島市） ・南界校区青壮年ボランティアグループ「歴史の里坂井公園を活性化させよう会」活動（中種子町） 	4人
伝統文化の保存と継承	<ul style="list-style-type: none"> ・指笛の伝承活動。奄美の伝統文化を若い世代に広げる（鹿児島市） ・始良市における郷土史の研究（島津義弘公）（始良市） ・国上・湊集落，エビス祭りの復活に向けた活動（西之表市） ・高齢者から，子どもたちへ獅子舞・伝統遊びを伝承（西之表市） ・鉄砲祭りにおける子どもみこし参加（各校区青少年指導部等での子どもみこし作り）（西之表市） 	5人
体験活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・親子共同の物作り（親子のコミュニケーションの構築，地元素材の活用）（大崎町） ・小学校などへの課外活動の提案（鹿屋市） ・郷土の自然を生かした活動（自然との共生）（南種子町） 	3人

[レベルアップ講座]

1 内容

(1) 目的

当センター講座受講後の地域リーダーとしての活動の成果を自ら検証し、効果的な活動を発展的に深めるとともに、地域リーダー同士の交流を広げるなど、より一層自らの力で学習活動を推進する人材を育成する。

(2) 講座の概要

レベルアップ講座	
内容	以後の活動を発展的に深め、充実させるための実践発表とその講評、講話等のプログラム
講座数	1講座(全1回)
会場数	1会場(交流センター)
対象	前年度までに基礎講座を修了した者で講座開設どの活動をしている者(予定者を含む)
定員	30人程度(視聴者含)
受講料	無料
講師	1人(大学等教員1)










発表者・居住地・実践活動名	
発表1	胡摩ヶ野千穂(曾於市) 「鹿児島べぶんこの会」を通して
発表2	瀧川憲洋(鹿児島市) 「西伊敷校区あいご会活動」を通して
発表3	日高雄一(霧島市) 「LCC空港のある町会議」を通して
発表4	弓削一弘, 山下理香, 古田由香(大崎町) 「野方の魅力を発信する活動」を通して

(3) 受講者数

36人(発表者6人)

(4) 講座内容

13:00~16:00

プログラム	講座の様子
① 開講式 オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所長あいさつ ・ 日程、プレゼンテーションの留意点、グループディスカッションについて等  <p>人材育成講座を修了された方が一同に会し、日頃の活動を振り返り、より発展的・実践的な視点で学んでいただくことを目的としています。</p>
② 実践発表プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画書や実践内容の発表(6人) ↓ ・ 発表に基づく受講者間の質疑、意見交換等 ・ ②のまとめと講評等(金子准教授)   <p>取組には、様々な知恵が埋まっています。地域の中で「野方の魅力講演会」を実施するなど、ふるさとの楽しみ方を学べたことも素晴らしい。地域の中で人と人とのつながりが大きな力となっていきます。</p> <p>地域と一体となって行っていることが素晴らしいと思います。</p>
③ グループディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループディスカッション ・ 各班からの発表    
④ 講話	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめ、実践に向けた助言～ふるさと鹿児島を支える次世代リーダーの創造～金子満(鹿児島大学教育学系准教授)  <p>21世紀の新たなリーダー像を鹿児島の地で一緒に創造してみませんか。みなさんの一歩が、これからの社会の原動力となるのです。</p>
⑤ 閉講式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中央センター所長あいさつ  <p>県内、それぞれの地域においてネットワークが広がり、生涯学習のリーダーとして皆様が御活躍されることを期待しております。</p>

[受講者の感想]

- ・ 地域での活動も、その他の活動も長期計画が必要だと思った。事例を聞かせていただきありがとうございました。
- ・ 異業種の方々や違う活動をしている方々との話ができて良かった。
- ・ 参加者のほとんどが、とても意欲的で毎回その勢いに圧倒されます。良い刺激をいただきました。

2 生涯学習県民大学講座

1 趣 旨

多様化・高度化する県民の生涯学習ニーズに応えるため、大学等と連携して、現代的課題等に基づく学習機会の提供を図る。

2 主 催

中央センター。ただし、中央センターと連携して事業を推進する市町村教育委員会も主催とすることができる。

3 内 容

主に現代的課題や社会的要請に基づく内容とし、各会場2講座とし、会場市町村教育委員会が希望する内容とする。ただし、1講座は「教育・子育て」に関わる内容とする。

4 概 要

(1) 会場及び講座数

地 区	市町数	会場数	講座数	開設市町
鹿児島地区	1	1	2	日置市
南薩地区	1	1	2	南九州市
北薩地区	1	1	2	薩摩川内市
始良・伊佐地区	1	1	2	霧島市
大隅地区	2	2	4	志布志市，南大隅町
熊毛地区	1	1	2	南種子町
大島地区	2	2	4	奄美市，和泊町
かごしま県民交流センター			8	

(2) 実施時間

ア 1講座は、90分程度（質疑応答10分含む）とし、連続して行う場合は30分以上の休憩を設ける。

イ 同日に2講座を行うことを基本とするが、経費その他日程上可能であれば2日間にわたり実施できる。

(3) 講 師

各講座内容に応じた専門家

(4) 受講者

県民

(5) 定 員

1講座は、30人程度とする（施設の状況に応じて設定）。ただし、2講座を連続して実施する場合であっても受講者の入れ替えは可能とする。

(6) 受講料 無料(原則)

5 その他

(1) 運営は会場市町村教育委員会と中央センターが協働・分担して行う。

(2) 各講座名は、中央センター、会場市町村教育委員会、講師が協議の上、会場・講座別に定める。

6 講座一覧及び受講者数

地区等	No.	テーマ及び講座名	講師	期日	時間	会場	受講者数	
							男・女	合計
鹿児島地区	1	地域・郷土 「古い建物を生かして街を元気にする ～麓集落の歴史と景観、これからの姿～」	鹿児島大学大学院 教授 鱒坂 徹	6/28 (日)	(開講式13:00～) 13:10～14:40	日置市 中央公民館	42	72
	2	地域・郷土 「伊集院まち歩き」	NPO法人かごしま探検の会 代表 東川 隆太郎				30	
南薩地区	3	教育・子育て 「伸びる人とは？ ～一流スポーツ選手の特徴から学ぶ～」	鹿屋体育大学 准教授 中本 浩揮	10/18 (日)	(開講式13:00～) 13:10～14:40	ちらん夢郷館	42	74
	4	教育・子育て 「子ども・若者が参加・参画する地域づくりを考える」	鹿児島大学教育学系 准教授 金子 満				32	
北薩地区	5	教育・子育て 「音楽を通じたコミュニケーションの魅力」	鹿児島大学教育学系 准教授 今 由佳里	7/11 (土)	(開講式13:00～) 13:10～14:40	薩摩川内市 中央公民館	23	39
	6	教育・子育て 「育てられる者と育てる者」	志學館大学 名誉教授 片平 眞理				16	
始良・伊佐地区	7	環境問題・防災 「輪廻を巡るこの宇宙」	鹿児島大学理学部物理科学科 教授 半田 利弘	6/13 (土)	(開講式13:00～) 13:10～14:40	霧島市 隼人公民館	15	27
	8	地域・郷土 「霧島市の魅力の再発見とその楽しみ方」	NPO法人かごしま探検の会 代表 東川 隆太郎				12	
大隅地区	9	健康・医療 「食品の安全・安心と健康」	鹿児島純心女子大学 准教授 松元 圭太郎	6/17 (水)	(開講式13:00～) 13:10～14:40	志布志市立 図書館	3	32
	10	健康・医療 「老後に備えて貯金と貯筋」	鹿屋体育大学 学長 福永 哲夫				29	
	11	教育・子育て 「音楽を通じたコミュニケーションの魅力」	鹿児島大学教育学系 准教授 今 由佳里	11/28 (土)	(開講式13:00～) 13:10～14:40	南大隅町 中央公民館	5	25
	12	教育・子育て 「子供とやる気」	鹿屋体育大学 准教授 中本 浩揮				20	
熊毛地区	13	健康・医療 「カライモと魚の組合せは長寿食」	マイ食品開発研究所 代表 吉元 誠	9/12 (土)	(開講式13:00～) 13:10～14:40	南種子町立 中央公民館	16	27
	14	教育・子育て 「子供の学習意欲の見方・導き方」	鹿児島大学教育学系 教授 今林 俊一				11	

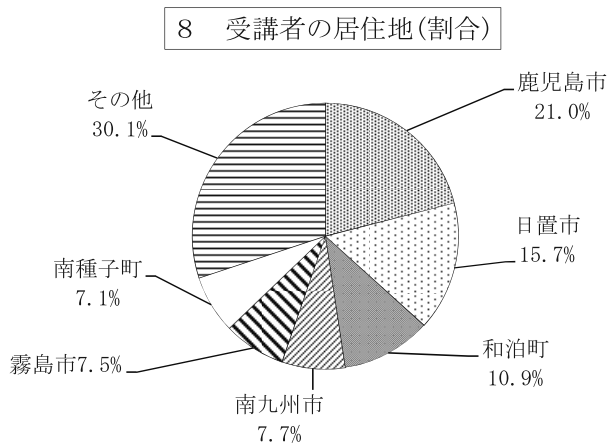
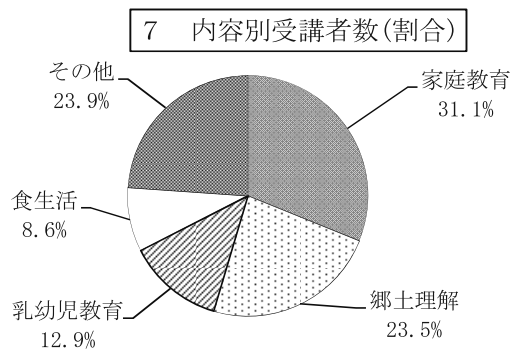
地区等	No.	テーマ及び講座名	講師	期日	時間	会場	受講者数		
							男・女	合計	
大島地区	15	地域・郷土 「世界自然遺産候補地の野生植物」	鹿児島大学大学院 准教授 宮本 句子	8/8 (土)	(開講式13:00～) 13:10～14:40	奄美振興会館	12	16	
					4				
	16	環境問題・防災 「奄美大島における土砂災害の特徴と災害への備え」	鹿児島大学農学部 教授 地頭菌 隆		15:20～16:50 (閉講式16:50～)		11	13	
					2				
17	教育・子育て 「子供の発達を支える絵本」	鹿児島大学教育学系 准教授 金 娟鏡	12/19 (土)	(開講式13:00～) 13:10～14:40	和泊町 防災センター	9	58		
				49					
18	教育・子育て 「心理学に基づく家庭教育の在り方」	鹿児島大学教育学系 講師 島 義弘		15:20～16:50 (閉講式16:50～)		9	48		
				39					
かごしま県民交流センター	19	教育・子育て 「これからの家庭・地域・学校～ことばと文化～」	川村学園女子大学教育学部 教授 田中 孝一	8/29 (土)	(開講式13:00～) 13:10～14:40	中研修室2	10	21	
							11		
	20	教育・子育て 「子供のインターネット利用に関する家庭教育～子供を被害者にも加害者にもしないために～」	鳴門教育大学大学院 准教授 藤村 裕一		15:20～16:50 (閉講式16:50～)			11	21
					10				
	21	健康・医療 「酵素で分かる食品と医薬品」	鹿児島大学大学院 准教授 有馬 一成	12/5 (土)	(開講式13:00～) 13:10～14:40			12	25
							13		
	22	環境問題・防災 「桜島火山と防災」	京都大学防災研究所 火山活動研究センター 教授 井口 正人		15:20～16:50 (閉講式16:50～)			16	21
				5					
23	健康・医療 「お茶の健康への効果と美味しいお茶の淹れ方」	鹿児島大学 名誉教授 園田 俊郎	1/16 (土)	(開講式13:00～) 13:10～14:40	小研修室2	12	29		
						17			
24	地域・郷土 「やねだんにおける地域活性の実績」	鹿屋市串良町 柳谷自治公民館 館長 豊重 哲郎		15:20～16:50 (閉講式16:50～)		22	32		
				10					
25	健康・医療 「大学の先生が半世紀前に受けた鹿児島の食育」	マイ食品開発研究所 代表 吉元 誠	2/6 (土)	(開講式13:00～) 13:10～14:40	大研修室2	13	25		
						12			
26	教育・子育て 「伸びる子に育てる」	鹿屋体育大学 准教授 中本 浩揮		15:20～16:50 (閉講式16:50～)		18	42		
				24					
合計								856	

7 テーマ及び内容別受講者数

テーマ	講座内容の要旨	講座数	受講者数	割合	合計	割合
教育・子育て	乳幼児教育	3	110	12.9%	403	47.1%
	家庭教育	8	266	31.1%		
	地域教育・郷土	1	27	3.2%		
環境問題・防災	環境問題	1	27	3.2%	61	7.1%
	防災・減災	2	34	4.0%		
健康・医療	食生活	3	74	8.6%	159	18.6%
	運動	1	31	3.6%		
	健康・医療	2	54	6.3%		
地域・郷土	地域活性	1	32	3.7%	233	27.2%
	郷土理解	4	201	23.5%		
合計		26	856	100.0%	856	100.0%

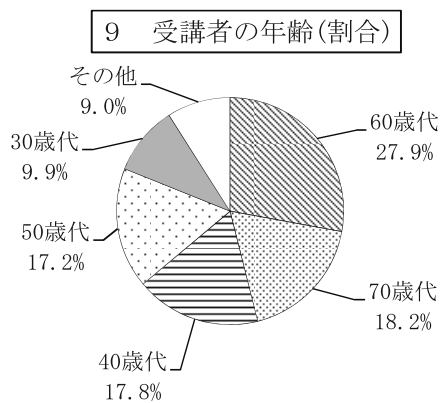
8 受講者の居住地

No.	市町村	受講者数	割合
1	鹿児島市	180	21.0%
2	日置市	134	15.7%
3	和泊町	93	10.9%
4	南九州市	66	7.7%
5	霧島市	64	7.5%
6	南種子町	61	7.1%
7	志布志市	60	7.0%
8	薩摩川内市	59	6.9%
9	南大隅町	41	4.8%
10	奄美市	28	3.3%
11	始良市	28	3.3%
12	知名町	13	1.5%
13	鹿屋市	7	0.8%
14	いちき串木野市	6	0.7%
15	指宿市	4	0.5%
16	出水市	4	0.5%
17	南さつま市	2	0.2%
18	さつま町	2	0.2%
19	曾於市	1	0.1%
20	枕崎市	1	0.1%
21	龍郷町	1	0.1%
22	県外(串間市)	1	0.1%
	合計	856	100.0%



9 受講者の年齢及び性別

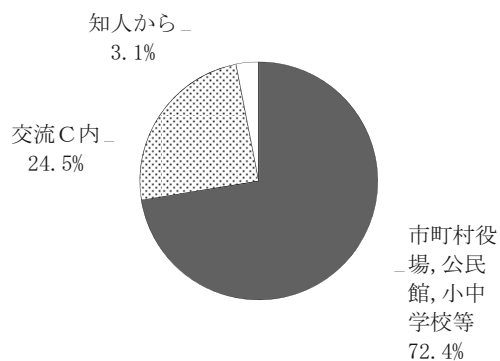
年齢	男	女	合計	割合
10歳未満	3	4	7	0.8%
10歳代	3	4	7	0.8%
20歳代	10	19	29	3.4%
30歳代	24	61	85	9.9%
40歳代	40	112	152	17.8%
50歳代	63	84	147	17.2%
60歳代	112	127	239	27.9%
70歳代	90	66	156	18.2%
80歳以上	20	14	34	4.0%
合計	365	491	856	100.0%
割合	42.6%	57.4%	100.0%	



10 講座チラシ入手先

会場市町	役場等	交流C	知人	合計
日置市	68	4		72
南九州市	28	1		29
薩摩川内市	14			14
霧島市	33	5	2	40
志布志市	10			10
南大隅町	26	2		28
南種子町	25			25
奄美市				0
和泊町	45			45
交流センター	35	84	10	129
合計	284	96	12	392
割合	72.4%	24.5%	3.1%	100.0%

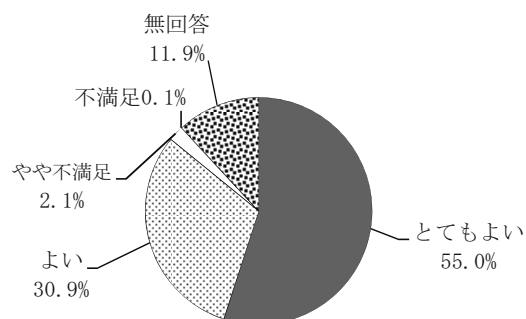
10 チラシの入手先(割合)



11 講座の評価(受講者へのアンケート結果から)

項目	人数	割合
とてもよい	413	55.0%
よい	232	30.9%
やや不満足	16	2.1%
不満足	1	0.1%
無回答	89	11.9%
合計	751	100.0%

11 講座の評価(割合)



12 各講座の概要

(1) 鹿児島地区（日置市）

ア 「古い建物を生かして街を元気にする
～麓集落の歴史と景観，これからの姿～」

(ア) 講師

鹿児島大学大学院 鯉坂 徹 教授

(イ) 内容

① まちは建築で作られる

- ・ 第2次世界大戦後は，歴史的景観が断絶し，建築がまちなみとは無関係に建てられていった。他方，欧米のまちで実施されている個々の建築をコントロールする都市計画とは対称的。

② 歴史的景観を継承してきた麓集落

- ・ 旧薩摩藩では，外城制度のもと，県内を中心に百を超える麓集落が置かれていた。
- ・ 麓集落の景観は，鹿児島の社会と気候，風土に根ざし，独特。

③ まちを元気にする1つの処方箋

- ・ 悉皆調査：地区の全ての建築を調査
- ・ まち歩きマップの作成
- ・ 使われていない古い建物の活用方法の検討→地域で活用
- ・ 地域全体の町づくりの検討会ワークショップ。等

(ウ) 受講者の感想

- ・ 建築の話など，多くのことを知ることができ，すごく楽しかった。(60代・男)
- ・ 今回建物について教えてもらって，本当にありがとうございました。(70代・女)
- ・ 知らないことを聞くことができ，大変参考になった。今後も受講したい。(70代・男)



講師：鯉坂 徹 氏



講座の様子

イ 「伊集院まち歩き」

(ア) 講師

NPO法人かごしま探検の会 東川 隆太郎 代表

(イ) 内容

① 「高山彦九郎日記」「西遊雑記」「薩陽往返記事」「小松帯刀日記」の解説，紹介

- ・ クイズを出しながら，大昔の伊集院の町並み，人々の交流等を紹介

② 選ばれる地域に大切なこと

- ・ 遊びの場（楽しめる，関われる仕組み）
- ・ 癒やしの場（自然・ストレスのないコミュニティ）
- ・ 学びの場（文化・歴史・伝統・学校など）
- ・ 仕事（多様な業種，仕事ができる環境）

③ 選ばれる地域とは

- ・ 住民が豊かである。（地域を自慢できる。）
- ・ いろいろなことが分かりやすい。（交通事情・情報など。）
- ・ 他にないものがある。（大切なもの・個性を持っている。）
- ・ おもしろいものがある。（おもしろいことをしている。） ・ 話題や噂になっている。
- ・ 値段にも質にも選択肢がある。 ・ 目標・目的が明確かつ共有されている。

④ まちづくり活動をしながら考えたこと

- ・ 先ずは自分たちが楽しく，頑張りすぎない。
- ・ できないことは頼る，役割分担する。

(ウ) 受講者の感想

- ・ 講座1と2が関連していて理解しやすかった。(60代・男)
- ・ 伊集院の町を歩いてみたかった。(60代・女)
- ・ 日記により人々の交流や町の様子，歴史が分かり，おもしろいなと思いました。(60代・女)



講師：東川 隆太郎 氏



講座の様子

(2) 南薩地区（南九州市）

ア 「伸びる人とは？～一流スポーツ選手の特徴から学ぶ～」

(ア) 講師

鹿屋体育大学 中本 浩揮 准教授

(イ) 内容

① 一流から学ぶ10年1万時間の過ごし方

- ・ ただ練習をすればいいということではない。意図的・計画的練習を10年1万時間行うことが大事である。
- ・ 意図的・計画的練習には、高いやる気（意志力や忍耐力）と明確な目標が必要である。

② 子供の能力感を探る

- ・ 自己参照による課題目標を持たせる。～今日は〇〇ができるようになった。明日は〇〇ができるようにしよう。～

③ 子供の能力感を課題思考へと変えることが大事

- ・ 周囲の大人の価値観が、努力・熟達志向であると課題目標につながる。

④ 一流から学ぶ努力の方法

- ・ 学習方法や練習方法を自分で考えること（指導者が提示した選択肢の中から選ぶことも有効）この自己決定、自己選択が学習（練習）効果、やる気を高める。

⑤ 伸ばす指導者の指導の特徴

- ・ 質問で育てる。考えさせて育てる。
- ・ 答えを与えるのではなく、自分で正答を引き出せるように導く。

(ウ) 受講者の感想

- ・ 大変勉強になりました。子育てや学校での子どもとの接し方に生かしたいと思います。(40代・男)
- ・ 今までの考え方を見直す、良い講座だったと思います。これからもまだまだ能力可変思考で前向きにいきたいと思いました。(50代・女)
- ・ 子どもたちにも、直接話を聞かせてあげたら良かったなと思います。(40代・女)



講師：中本 浩揮 氏



講座の様子

イ 「子ども・若者が参加・参画する地域づくりを考える」

(ア) 講師

鹿児島大学教育学系 金子 満 准教授

(イ) 内容

① 今どきの子供の現状

- ・ 誰からも傷つけられたくない、傷つけたくもない。その繊細な「やさしさ」が子ども達の生きづらさを生んでいる。
- ・ 「教室は たとえて言えば 地雷原」（ある中学生の川柳：地雷を踏むことがないように細心の注意を払うこと）
- ・ 異界を生きる少年少女～違うけれども異常ではないという微妙な感覚（異界～違うけれども、異常ではない。）

② 子供と大人とのまなざしの違いについて理解する

- ・ 現代の子供たちや若者たちが持っている現実的イメージが親世代と同じ過程で形成されているか知る必要がある。例：「ヤバイ」という言葉の両義性など。

③ 子供の参加や参画によるまちづくりの重要性について

- ・ 子供を「育てる」から子供が「育つ」へ、子供の主体性への理解が重要である。

④ まとめ

- ・ 現代における子どもたちについて、よく理解することが大切である。
- ・ 子どもたちも含めた社会への参加・参画を積極的に進める取組がこれまで以上に重要である。

(ウ) 受講者の感想

- ・ 現在の子ども達の立場がいかに生きにくくなっているか。様々な活動に、まずは大人が参加させ、段階を経て、自分で参加できるよう大人が仕向けていくことが必要。(40代・女)
- ・ いくつになっても学ぶことは大切だと思った。機会を見つけて、また受講したい。(50代・女)
- ・ 子育て中の娘に資料をあげたいと思う内容でした。(60代・女)



講師：金子 満 氏



講座の様子

(3) 北薩地区（薩摩川内市）

ア 「音楽を通したコミュニケーションの魅力」

(ア) 講師

鹿児島大学教育学系 今 由佳里 准教授

(イ) 内容

① リズムでコミュニケーション

・ 全員で円になり、簡単なリズム打ちをしながら、コミュニケーションをとり受講者同士の交流を深めた。

次に、ドレミパイプ（ブームワッカー）を使って、「かえるの歌」の輪唱などのアンサンブル体験を行った。

② 親子のふれあう機会を作る「わらべうた」

・ 心の栄養として繰り返し、繰り返し歌ってあげることが大切である。

・ 声の高さは少し高い程度が子供にとっては心地よい。

・ 歌いながら体に触れることが大切である。

③ わらべうたの種類

・ 遊ばせ遊び唄 ・ 遊びうた ・ 自然や動植物に唄いかける唄 ・ 年中行事の唄 ・ 子守唄

④ 子供の音楽的能力

・ 一生に一度の大切な時期である「臨界期」を大事にして、様々なスキルを身に付けることができるようにすることが望ましい。（臨界期：新しいことをどんどん吸収できる期間。6歳頃まで。）

・ 人間の脳は、6歳頃までに90%完成される。

（スキヤモンの発達・発育曲線）

(ウ) 受講者の感想

・ リズム遊びやブームワッカーでの実技がとても楽しかった。

勉強になりました。（40代・女）

・ 幼いうちから音を聞くことが大切だと分かった。（30代・女）

・ 体を使ったコミュニケーションもあり、とても良かった。

（40代・女）



講師：今 由佳里 氏



講座の様子

イ 「育てられる者と育てる者」

(ア) 講師

志学館大学 片平 真理 名誉教授

(イ) 内容

① 親は育てられている

・ 親は育てる者として子供を育てているが、同時に子供から育てられている。

② 関わり方

・ 好ましい行動はもちろん、ちょっとできたことも認め、ほめる。（25%ルール）

・ 「できる」と認められた行動が増えてくると相対的に好ましくない行動は減っていく。

・ 危険な行動に対しては、冷静にきっぱり「やめる」よう伝える。

③ コンプリメント（肯定的な注目、言葉かけ）

・ ほめる、認める、ねぎらう。（他者と比較するのではなく、本人なりに頑張ったことを認めることが大切）

④ 関わり方の基本ルール

ルール1 うまくいっているなら、続けよう。

ルール2 一度でもうまくいったら、それをまたしよう。

ルール3 うまくいかないなら、何か違うことをしよう。

（何とかしようとするほど悪循環に陥ることが多い。）

(ウ) 受講者の感想

・ 自分の家族に当てはまるが多々あったのでごく有意義な講話でした。（30代・男）

・ 3歳の孫との関わり方にとっても役立つと思いました。娘にも内容を伝えたい。（50代・女）

・ 子供を見る目、関わり方について考えさせられました。

（50代・女）



講師：片平 真理 氏



講座の様子

(4) 始良・伊佐地区（霧島市）

ア 「輪廻を巡るこの宇宙」

(ア) 講師

鹿児島大学理学部物理科学科 半田 利弘 教授

(イ) 内容

① 恒星と惑星

- ・ 恒星：自ら光っている。惑星：恒星に照らされている。
- ・ 恒星：星座をなす星。 惑星：星座の中を動く。

→これらは、太陽系内から見た場合の区別。宇宙に出れば…。

② 恒星の進化

- ・ 恒星：水素の核融合で輝く。 惑星：恒星の周囲を巡る。時間が（数百万年～数百億年以上）経つと様子が変わる。
- ・ 原始星→主系列星→赤色巨星→惑星状星雲／超新星爆発

③ 星間ガス

- ・ 恒星の間の空間は完全な真空ではない＝星間ガスが存在
- ・ 非常に希薄。鹿児島旧市内全域をアミュランで囲んだ中に地球の空気を広げたくらい。
- ・ 宇宙は広大なので、それでもかなりの物質になる。

④ 恒星の誕生

- ・ 星間ガスの斑→濃いところが重力により周囲のガスを集める。→濃いところ集まる→さらに重力が強くなる→温度も上昇→限界を超えると核融合が始まる→恒星になる。
- ・ 恒星が誕生する時に、周囲にガス円盤ができる→ここから惑星ができる。

⑤ 物質輪廻＝宇宙での物質循環

- ・ 恒星の誕生と進化を考える。→恒星と星間ガスとに姿を変えて物質が巡っている。

(ウ) 受講者の感想

- ・ 大変勉強になりました。(70代・男)
- ・ すごく良かった。続きを聞きたい。(70代・男)
- ・ 内容の新しさと未知の世界の講座で目から鱗でした。(60代・男)
- ・ 初めて知ることばかりでとても興味深く聞きました。(60代・女)



講師：半田 利弘 氏



講座の様子

イ 「霧島市の魅力の再発見とその楽しみ方」

(ア) 講師

NPO法人かごしま探検の会 東川 隆太郎 代表

(イ) 内容

① 選ばれる地域に大切なこと

- ・ 遊びの場（楽しめる、関われる仕組み）
- ・ 学びの場（文化・歴史・伝統・学校など）
- ・ 仕事の間（多様な業種、仕事ができる環境）
- ・ 癒やしの場（自然・ストレスのないコミュニティ）

② 選ばれる地域とは

- ・ 住民が豊かである。（地域を自慢できる。）
- ・ いろいろなことが分かりやすい。（交通事情・情報など。）
- ・ 他にないものがある。（大切なもの・個性を持っている。）
- ・ おもしろいものがある。（おもしろいことをしている。）
- ・ 話題や噂になっている。 ・ 値段にも質にも選択肢がある。
- ・ 目標・目的が明確かつ共有されている。

③ 宿泊旅行の目的

- 1位～地域の美味しいものを食べる
- 2位～温泉や露天風呂
- 3位～宿でのんびり過ごす
- 4位～名所・旧跡の観光
- 5位～まち歩き・都市散策

④ まちづくり活動をしながら考えたこと

- ・ 先ずは自分たちが楽しく、頑張りすぎない。
- ・ できないことは頼る、役割分担

(ウ) 受講者の感想

- ・ すばらしいトークに驚いた。(60代・男)
- ・ 身近な所を歩いてみたいと思いました。(50代・女)
- ・ 知らない身近なことが多くて、楽しかったです。(40代・女)
- ・ すばらしい講座で、興味深く、すごく心に残りました。(50代・女)



講師：東川 隆太郎 氏



講座の様子

(5) 大隅地区（志布志市）

ア 「食品の安全・安心と健康」

(ア) 講師

鹿児島純心女子大学 松元 圭太郎 准教授

(イ) 内容

① 食の安全・安心と健康

- ・ 乳児は、ハチミツの摂取は避ける。(乳児ボツリヌス症)
- ・ カレー等の作り置き食品は、小分けにして冷蔵庫で保存する。
- ・ カジキ及びマグロなどの大型魚やクジラ類は、水銀の含有量が多いので、妊娠中は食べ過ぎに要注意である。
- ・ 鳥刺しは、子供及び高齢者や体調不良時はできるだけ摂取を避ける。

② 食中毒予防の6つのポイント

- ・ 食品購入：消費期限のチェック。魚、肉はそれぞれ分けて包み、保冷剤や氷と一緒に。
- ・ 家庭での保存：食品購入後はすぐ、冷蔵庫へ。肉、魚は汁が漏れないように。冷蔵庫10℃以下、冷凍庫-15℃以下を維持する。
- ・ 下準備：冷凍食品の解凍は冷蔵庫で(室温で長時間放置しない)。こまめに手を洗う。タオルやふきんは清潔なものを。包丁などの器具、ふきんは洗って消毒を。
- ・ 調理：加熱は十分に(中心部分の温度75℃で1分間)。台所は清潔に。作業前に手を洗う。
- ・ 食事：手を洗う。清潔な食器を使う。調理後はできるだけ早く食べる(長時間放置しない)。
- ・ 残った食品：早く冷えるように小分けにして保存する。温め直すときは十分に加熱する。怪しいと思ったら思い切り捨てる。

(ウ) 受講者の感想

- ・ すごく勉強になりました。身近な話を分かりやすく説明していただき理解できました。楽しい時間でした。(60代・女)
- ・ 「食の安全・安心」。台所を預かる女の人はとても責任があります。気を付けていきたいです。(60代・女)
- ・ 食中毒など身近な問題で大変勉強になりました。ありがとうございました。(70代・女)



講師：松元 圭太郎 氏



講座の様子

イ 「老後に備えて貯金と貯筋」

(ア) 講師

鹿屋体育大学 福永 哲夫 学長

(イ) 内容

① 貯筋運動とは

- ・ 自体重を負荷とした筋力トレーニング
- ・ 高齢者を対象とした筋力トレーニングの必要性が叫ばれる。

② 高齢者に運動指導を行う場合

- ・ うまい、下手、優劣などの記録を重視する必要はない。
- ・ 筋力が弱くてもできること。
- ・ けがや事故の危険性が少ないこと。
- ・ 特別な用具が要らず、自宅にあるものでできる。

③ 高齢者の筋力トレーニングの意義

- ・ 運動不足による筋機能の低下の進行を防ぐ。 ・ 転倒予防につながる機能が保持される。
- ・ 自分の身体に自信が持てるようになり、良好な感情や気分を有することに繋がり、メンタルヘルスや認知症予防に繋がる。等

④ 貯筋運動の特徴

- ・ 安全に無理なく、特別な用具を用いず、自分の体重を利用して行える。
- ・ 簡単に実施できる。リズムカルな音楽で決められた回数を飽きずに楽しくできる。

(ウ) 受講者の感想

- ・ 運動の効果と必要性について、笑いのある楽しい時間でした。(60代・女)
- ・ 貯筋体操を続け、体重・ウエストの記録をとっていくことを心がけたい。(60代・女)
- ・ 毎日の継続が力なりとつくづく思いました。(60代・女)
- ・ 週1回の体操教室だけでしたが、これからは毎日続けられるようにしたい。(50代・女)



講師：福永 哲夫 氏



講座の様子

(6) 大隅地区 (南大隅町)

ア 「音楽を通じたコミュニケーションの魅力」

(ア) 講師

鹿児島大学教育学系 今 由佳里 准教授

(イ) 内容

① リズムでコミュニケーション

- ・ 全員で円になり、簡単なリズム遊びをしながら、コミュニケーションをとり、受講者同士の交流を深めた。

次に、ドレミパイプ (ブームワッカー) を使って、「かえるの歌」の輪唱などのアンサンブル体験を行った。

② 親子のふれあう機会を作る「わらべうた」

- ・ 心の栄養として、繰り返し、繰り返し歌ってあげることが大切である。
- ・ 声の高さは少し高い程度が子供にとっては心地よい。
- ・ 歌いながら体に触れることが大切である。

③ わらべうたの種類

- ・ 遊ばせ遊び唄 ・ 遊びうた ・ 自然や動植物に唄いかける唄 ・ 年中行事の唄 ・ 子守唄

④ 子供の音楽的能力

- ・ 一生に一度の大切な時期である「臨界期」を大事に、様々なスキルを身に付けることができるようにすることが望ましい。(臨界期：新しいことをどんどん吸収できる期間。6歳頃まで。)
- ・ 人間の脳は、6歳頃までに90%完成される。

(スキヤモンの発達・発育曲線)

(ウ) 受講者の感想

- ・ 小さい子供のいる人でも一緒に参加できるのは、良いことだと思いました。(40代・女)
- ・ リズム遊びを通して、楽しくコミュニケーションを図りながら講座を受けることができました。(40代・女)
- ・ 学校現場家庭ですぐに役立つお話でとてもよい時間を過ごせました。(20代・女)



講師：今 由佳里 氏



講座の様子

イ 「子供とやる気」

(ア) 講師

鹿屋体育大学 中本 浩揮 准教授

(イ) 内容

① 一流から学ぶ10年1万時間の過ごし方

- ・ ただ練習をすればいいということではない。意図的・計画的練習を10年1万時間行うことが大事である。
- ・ 意図的・計画的練習には、高いやる気(意志力や忍耐力)と明確な目標が必要である。

② 子供の能力感を探る

- ・ 自己参照による課題目標を持たせる。～今日は〇〇ができるようになった。明日は〇〇ができるようにしましょう。～

③ 子供の能力感を課題思考へと変えることが大事

- ・ 周囲の大人の価値観が、努力・熟達志向であると課題目標につながる。

④ 一流から学ぶ努力の方法

- ・ 学習方法や練習方法を自分で考えること(指導者が提示した選択肢の中から選ぶことも有効)この自己決定、自己選択が学習(練習)効果、やる気を高める。

⑤ 伸ばす指導者の指導の特徴

- ・ 質問で育てる。考えさせて育てる。
- ・ 答えを与えるのではなく、自分で正答を引き出せるように導く。

(ウ) 受講者の感想

- ・ 子供のやる気の出し方等、とても参考になりました。(40代・女)
- ・ 様々なデータからの検証事項を知ることで、子ども達のやる気を伸ばすきっかけになりそうです。(50代・男)
- ・ やる気と子供との関わり方が、とても分かりやすく、早速自分の子にも、クラスにも実践したいです。(40代・女)



講師：中本 浩揮 氏



講座の様子

(7) 熊毛地区(南種子町)

ア 「カライモと魚の組合せは長寿食」

(ア) 講師

マイ食品開発研究所 吉元 誠 代表

(イ) 内容

① サツマイモは昔から機能性食品

- ・ ご飯100グラムと比較した場合、食物繊維、カリウム、カルシウム、カロチン、ビタミンB、ビタミンC、ビタミンEの含有割合が多い。

② 魚摂取の効果

- ・ サバやマグロ、ニシン、サケ等の魚に含まれるオメガ3多価不飽和脂肪酸は脳内の血管を正常に保つのに役立つ。
- ・ 魚を1月に1～3回食べるだけで脳梗塞のリスクが大きく減る。

③ トランス脂肪酸の摂取を控える

- ・ 心筋梗塞やガン、糖尿病にかかるリスクが高くなる。
- ・ トランス脂肪酸を多く含む食べ物～マーガリン、カップラーメン、スナック菓子、チョコレート、クッキー、フライドポテト、冷凍チキン等

④ 長生きの秘訣

- ・ 太りすぎない。 ・ タバコを吸わない。
- ・ 歩け歩け、ひたすら歩け。
- ・ 最後に、いつまでも現役で。

(ウ) 受講者の感想

- ・ 今まで知っていたことの根拠が分かってよかった。食習慣を見直したいと思います(50代・女)
- ・ 分かりやすく興味深いお話で、集中して受講することができました。(40代・男)
- ・ もっと食べ方、組合せを意識したメニューを心掛けたいと思います。(40代・女)



講師：吉元 誠 氏



講座の様子

イ 「子供の学習意欲の見方・導き方」

(ア) 講師

鹿児島大学教育学系 今林 俊一 教授

(イ) 内容

① 意欲喪失の原因

- ・ 失敗や敗北経験
- ・ プレッシャーのかかる言葉
- ・ 他人から完全を要求される言葉
- ・ 欠点ばかり指摘する言葉
- ・ 達成不可能な目標を課す言葉
- ・ 常に他の人と比較する言葉
- ・ 自発生を損なう言葉

② 自信とは

- ・ 自信の大きさは、セルフイメージ（自己像）と比例する。
- ・ セルフイメージを形成する要因は、他者からの言葉かけ+自分自身に対する言葉かけ（セルフトーク）ポジティブセルフトーク～まだまだ。これからだ。さあ、行こうなど。

③ 親（教師）と子供との相互作用（お互いに影響）している自覚

- ・ ありのままの子供を受け入れる。親（教師）の思い通りに行かなくてもがっかりしない。うるさく言わない。急がせないでゆっくりやらせる。励ます。見守る。

(ウ) 受講者の感想

- ・ 分かりやすい事例を基に話されていたので、最後まで楽しく、興味を失うことなく聞くことができました。(40代・男)
- ・ 過去の栄冠にとらわれず、次の結果を残すための努力をしていくという考えを持つ。子供にしっかり教えようと思った。(40代・女)
- ・ 子ども達の意欲を良い方向に導ける言葉かけを行っていこうと思った。(40代・男)



講師：今林 俊一 氏



講座の様子

(8) 大島地区 (奄美市)

ア 「世界自然遺産候補地の野生植物」

(ア) 講師

鹿児島大学大学院 宮本 句子 准教授

(イ) 内容

① 世界自然遺産について

- ・ 顕著な普遍的価値をもち、人類の共通の財産として次世代に残すべき建造物や自然を世界自然遺産という。
- ・ 2013年に奄美大島、徳之島、沖縄島、西表島を主体とする「奄美・琉球」が暫定リストに掲載され、推薦書の準備が進められている。
- ・ 「奄美・琉球」については、生態系と生物多様性の2項目に基づいて推薦される可能性が高い。

② 「奄美・琉球」の植物相

- ・ 奄美諸島と琉球諸島の森林を構成する植物の種類に注目すると、東アジア地域と同一または近縁な分類群が多い。

③ 奄美群島の植物の現状

- ・ 奄美群島に自然度が高い植生や固有な植物が残存していることは驚くべきことである。
- ・ 一方で、島外からヒトによって持ち込まれた外来種が在来種に影響を与えている例もある。
- ・ 将来にわたって奄美群島の自然環境をどうあったら幸いだと考えるか、地元での語らいの機会を持つことも大切である。

(ウ) 受講者の感想

- ・ 奄美にいながら、知らないことが多かったのですが、大変分かりやすく良い勉強になりました。(70代・女)
- ・ 植物の系統性等、高度な学術研究に感心することでした。(70代・男)
- ・ 奄美の植物について改めて自分たちができることは何かを考えさせられました。最近は動物にシフトし過ぎなのかもしれません。(50代・男)



講師：宮本 句子 氏



講座の様子

イ 「奄美大島における土砂災害の特徴と災害への備え」

(ア) 講師

鹿児島大学農学部 地頭菌 隆 教授

(イ) 内容

① 日本はなぜ、自然災害が多いのか

- ・ 山地が多い、地質が脆弱、地震が多い、火山が多い、雨が多い、台風が来る。
- ・ 日本列島付近では4プレートがひしめき合う、世界的にみても特異な地域

② 土砂災害を引き起こす原因

- ・ 山崩れ、崖崩れ、崩壊、地すべり、土石流
- ・ 斜面のやわらかい土（表土）が崩れる。
- ・ 風化した岩盤が大規模に崩れる。
- ・ 多量の雨（豪雨）による土砂災害

③ 土砂災害を防ぐために

- ・ 避難場所と避難経路を確認し、土砂災害警戒情報をもとに早めに避難する。
- ・ 自分が住んでいる自然環境をまず知る。
- ・ 前兆現象（石が落ちてくる。地鳴りがする。わき水が急にわき出す。川の水が濁るなど）

(ウ) 受講者の感想

- ・ 分かりやすく、大変よい学習ができました。土砂災害のメカニズムについて、とても興味深く学習できました。(30代・男)
- ・ もっとたくさんの人に聞いていただきたい。(50代・女)
- ・ 研究データを基に専門的な内容の講座で、大変役に立った。このように直接、大学教授等のお話が聞けることがありがたい。(60代・女)



講師：地頭菌 隆 氏



講座の様子

(9) 大島地区 (和泊町)

ア 「子供の発達を支える絵本」

(ア) 講師

鹿児島大学教育学系 金 娟鏡 准教授

(イ) 内容

① 絵本に親しむ時期

- ・ 子供と絵本の出会いは、生後3, 4か月が6割近く。
- ・ 生後9か月以降、絵本に親しむことが大切である。

② 絵本の読み聞かせ

- ・ 知っていることでも繰り返し読む。
- ・ 子供の反応を見ながら読み進める。
- ・ 子供の質問や疑問には、その場で答える。
- ・ 読んでもらった感想をせかささない。
- ・ 読み手の解釈をストレートに伝えない。

③ 幼少期の絵本経験の影響 (金・立田(2013): 大学生対象に調査)

- ・ 小さい頃に読んでもらった絵本: 1位ぐりとぐら 2位はらぺこあおむし 3位日本昔ばなし
- ・ 親から絵本の読み聞かせしてもらった人は、現在の親との関係を親密だと捉えている。
- ・ 大人になっても、本を読むことが好きである。

④ 絵本を通して人と人が繋がる (絵本セラピー)

- ・ うれしい話, 楽しい話, つらい話, 悲しい話は心の交流を作り出す。
- ・ 絵本を通して自分の内面を見つめる。

(ウ) 受講者の感想

- ・ 新しい絵本の発見, いろいろな利用法, 発達理解など, たくさん学ぶことができました。もっともっと子供たちに絵本を読んであげたい。(40代・女)
- ・ 自分でも取り入れられそうで, 即実践, 即見えそうな内容でも良かった。(40代・女)
- ・ いろいろな絵本を実際に見ることができて, とても参考になりました。(30代・女)



講師: 金 娟鏡 氏



講座の様子

イ 「心理学に基づく家庭教育の在り方」

(ア) 講師

鹿児島大学教育学系 島 義弘 講師

(イ) 内容

① 子供の信号行動への反応

- ・ 子供の指さしや喃語(なんご)「バブバブ」に対して, タイミングよく反応してあげることが大切

② 親の過剰な関与は禁物

- ・ 過剰な愛は, 子供の健全な発達を阻害さえしかねない。(根ヶ山2013)
- ・ 親が先回りしない。
- ・ 子供の興味関心を無視して, 習い事などをさせない。(子供がパンクしてしまう。)

③ 遺伝と環境: 教育のための正しい理解

- ・ 行動遺伝学の三法則~遺伝の影響はあらゆる側面に見られる。等
- ・ 遺伝は決定論ではない~エピジェネティクス~遺伝の影響は発達とともに大きくなる。等
- ・ 遺伝と環境の相互作用~万人に適切な環境は存在しない。等

④ まとめ

- ・ 親も子も自然体で ・ 過度な期待をしない。
- ・ 親だけでなく, 周りの協力を得ながら育てる。
- ・ 子育ては親育てでもある。
- ・ 子供は親(周囲の人々)を見て育つ。

(ウ) 受講者の感想

- ・ 少し難しい表現がありましたが, 自然体で無理せず一緒に育っていきたいと思える講座でした。(30代・女)
- ・ 期待しすぎずに, 自然体で子育てを頑張っていきたいと思えます。(40代・女)
- ・ 質問をもう少し聞いてもらえたら, その時間をとってもらえたらと思いました。(30代・女)



講師: 島 義弘 氏



講座の様子

(10) かがしま県民交流センター
ア 「これからの家庭・地域・学校～ことばと文化～」

(ア) 講師
川村学園女子大学教育学部 田中 孝一 教授

(イ) 内容

- ① 暦と季節，行事に関心を持つ。
 - ・ 旧暦の日付を教室に掲示するなど，季節を生活の中で意識させることが大切である。
 - ・ 旧暦の知識を活用し，季節を先取りしてファッション製品を整えるなど，ビジネスに生かしている企業もある。
- ② 旧暦由来の地域行事の継承の重要性
 - ・ 地域に残っている季節ごとの八月踊りや盆踊り等の行事を大切に，季節感を味わわせる。
- ③ 家庭や地域の言葉は生活や文化の同伴者
 - ・ 言葉を豊かに身に付けて，伝統的な生活感，季節観などを現代に生かしていく。
 - ・ 方言の多様性と豊かさに気付かせ，方言の世界（体系）の中で育ち，暮らすことは，ある地域特有の個性的なことばの世界，文化の世界を一つ持つことである。どう残し，どう伝えていか考えていきたい。
 - ・ 言葉は文化と強く結び付いている。文化はものの考え方や価値観とも繋がっている。言葉を豊かに身に付けることは，ものの考え方を豊かにすることでもある。



講師：田中 孝一 氏

(ウ) 受講者の感想

- ・ 初めて知ることも多く，とても勉強になりました。(50代・男)
- ・ 郷土を大切にしたいという気持ちでいっぱいになりました。(40代・女)
- ・ これまで意識していなかった旧暦のことについて，とても楽しく知ることができました。季節感を言葉を通して育てていくことの大切さを感じました。(50代・女)



講座の様子

イ 「子供のインターネット利用に関する家庭教育
～子供を被害者にも加害者にもしないために～」

(ア) 講師
鳴門教育大学大学院 藤村 裕一 准教授

(イ) 内容

- ① もし，ネットいじめにあったら
 - ・ メールや掲示板の内容を保存・印刷したり，画面の写真を撮る。
 - ・ メールアドレスを変更する。又は，しばらく携帯電話を使わない。掲示板の管理人やプロバイダに削除依頼をする。
 - ・ 学校や警察に相談し書き込んだ児童生徒の特定や指導を依頼する。
 - ・ 一人で悩まない。すぐに親や先生に相談することを教える。
- ② 家庭でのルールづくりが大切（ルールの例としては）
 - ・ 夜__時を過ぎたら使わない。
 - ・ 勝手に買い物や応募をしない。
 - ・ 写真を載せない。
 - ・ 食事中はケータイを触らない。
 - ・ 名前や住所を教えない。
 - ・ 1月のケータイの使用料金を決める。等
- ③ 今すぐ家庭がすべき3つのこと
 - ・ まずは，子供の実態を知る。
 - ・ 我が家のルールを決める。
 - ・ フィルタリング等の設定をする。



講師：藤村 裕一 氏

(ウ) 受講者の感想

- ・ 身近なネットの使い方，その危険性も大変分かりやすかった。大人もしっかり知識として身に付けていく必要がある。(30代・男)
- ・ 非常に身近で自分事として捉えることができ，年頃の子を持つ親として，また，教員として啓発していきたいと思いました。(40代・男)
- ・ 被害の現状と学校での取り組み方についてだけでなく，家庭へアドバイスする内容等についても知ることができ，良かったです。(20代・女)



講座の様子

ウ 「酵素で分かる食品と医薬品」

(ア) 講師

鹿児島大学大学院 有馬 一成 准教授

(イ) 内容

① タンパク質や酵素の働き

- ・ タンパク質～アミノ酸がペプチド結合でつながった高分子化合物
- ・ 酵素～タンパク質でできている生体内で働く触媒
- ・ 身の回りの酵素～洗濯用洗剤など
- ・ アルコール（ビール、焼酎など）を無毒な物に分解するアルコール脱水素酵素，アルデヒド脱水素酵素

② 医薬品や健康食品が私たちの体に及ぼす影響

- ・ 医薬品とは，病気の予防や治療をするために，品質，有効性及び安全性に関する調査を行い，厚生労働大臣や都道府県知事が認めたもの。
- ・ 健康食品とは，普通の食品よりも健康によいと称して売られている食品。法令上明確な定義はない。2次的・補完的なもの。

③ 医薬品や健康食品との上手なつき合い方 ※ 摂り過ぎに注意する。

- ・ ビタミンCは摂り過ぎたら，尿で排出される。
- ・ ビタミンDは不足すると，くる病，骨軟化症等に。過剰摂取すると，高カルシウム血症，高血圧，結石等に。
- ・ ビタミンAは不足すると，夜盲症，皮膚硬化症等に。過剰摂取すると，肝機能障害，頭痛，嘔吐，下痢等に。

(ウ) 受講者の感想

- ・ 分かりやすく，優しい表情でお話してくださり，楽しい時間でした。(50代・女)
- ・ とても分かりやすくお話していただき，参考になりました。(50代・女)
- ・ 日頃から関心のある健康に関する講話で良かった。(60代・男)



講師：有馬 一成 氏



講座の様子

エ 「桜島火山と防災」

(ア) 講師

京都大学防災研究所
火山活動研究センター 井口 正人 教授

(イ) 内容

① 桜島の火山災害

- ・ 活火山とは，1万年以内に噴火したことがある火山。
- ・ 日本には110の活火山があり，その内，気象庁は47火山を常時監視している。

② 火山災害の要因～火山災害は複合災害～

- ・ 岩塊，レキ，火山灰，火砕流，火山ガス，土石流，溶岩流の噴出物が要因
- ・ 火山噴火に伴い地震，地盤変動，地形変形，津波などが発生する。
- ・ 水を媒介として災害規模が拡大する。

③ 桜島の火山活動の現状と予想される火山噴火とその対策

- ・ 2015年8月15日，火山性地震群発による噴火警戒レベルは4へ。

④ 考えうる次の活動－3つのシナリオ－

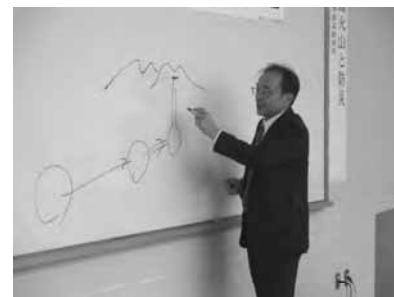
- ・ 南岳山頂爆発の再激化 ・ 昭和火口の爆発活動激化
- ・ 両山腹噴火(文明，安永，大正噴火)による20億 m^3 級のマグマの放出

⑤ 日頃からの備えを

- ・ 自然災害に対する理解を深める。・ 住民の自主的判断が重要である。
- ・ 防災意識を保ち続けることが重要である。

(ウ) 受講者の感想

- ・ 津波発生があることを知り，勉強になりました。(60代・男)
- ・ 分かりやすかった。(20代・男)
- ・ 身近な話題でとても興味を持ち，感謝しています。ありがとうございました。媒体に振り回されないように，冷静に選択していけたらと思いました。(60代・女)



講師：井口 正人 氏



講座の様子

オ 「お茶の健康への効果と美味しいお茶の淹れ方」

(ア) 講師

鹿児島大学 園田 俊郎 名誉教授

(イ) 内容

① 日本茶の歴史

- ・ 13世紀に栄西禅師が中国宋から茶の種を持ち帰り、宇治茶の源流となる。僧、貴族の嗜好品として飲用された。
- ・ 18世紀に永谷宗円が蒸し茶、煎茶技法を開発し、量産化され、江戸時代中期になると、庶民の茶となる。

② 古典の中で語られてきた緑茶の効能

- ・ 朝茶は七里帰っても飲みたい。・ 朝茶はその日の難逃れ。
- ・ 心身を醒まし気をめぐらし胃腸を活発にする。
- ・ 生魚を食べた後は緑茶一杯で毒消し。等（小泉武夫先生の講演より）

③ 現代医学で注目される緑茶の有効

- ・ 旨み：アミノ酸（テアニン、グルタミン）～気分爽快・癒やし効果
- ・ 苦み：カフェイン～覚醒作用、心悸亢進
- ・ 渋み：カテキン（ポリフェノール）～ウイルス、殺菌、抗がん、抗メタボ
- ・ その他：ビタミンC、葉緑素、食物繊維～快便、大腸ガン予防

④ 美味しいお茶の淹れ方

- ・ 使うお茶の葉、水、お湯の温度と量、浸出時間が大切。水は軟水（沸騰した水道水）がいい。

⑤ 時と場合に合わせたお茶の淹れ方

- ・ リラックスしたいときは、上級煎茶・玉露を低温で淹れる。カテキンを抑えてテアニンを多めに。

(ウ) 受講者の感想

- ・ お茶についてこんなに深く考えたことがありませんでした。お茶はとてもすごい力をもっていると再確認しました。勉強になりました。(40代・女)
- ・ 分かりやすく、先生の優しい説明で改めて、お茶の効能のすごさにびっくりしました。(50代・女)
- ・ 実践のある講座が楽しい。(60代・女)



講師：園田 俊郎 氏



講座の様子

カ 「やねだんにおける地域活性の実績」

(ア) 講師

鹿屋市串良町柳谷自治公民館 豊重 哲郎 館長

(イ) 内容

① 地域活動に対する哲学

- ・ 慌てるな、急ぐな、近道するな。本気の情熱
- ・ やねだんの唯一の資源は「人」。人材は貴重な財産「人財」
- ・ リーダーは率先垂範。忍耐力と我慢力も不可欠
- ・ 説得するより、納得、口で語るより汗で語り、目立たず、脇役の黒子に徹する。

② 自主財源の確保

- ・ 自主財源確保のため高校生から始まったサツマイモ生産活動（住民総出の集落営農）
- ・ 土着菌を活用しての焼耐用のサツマイモ栽培。焼酎「やねだん」誕生

③ 空き家を迎賓館に

- ・ 地域再生は文化の向上である。キーワードは「子供」である。本物の芸術家を受け入れる。

④ 補欠のいない地域再生

- ・ 反目する人、無視する人・される人のいない円満な輪づくりこそが、やねだんの土台であり、地域再生には補欠はいない。

⑤ 私のリーダー像

- ・ 自治公民館のリーダーの役割は実に大きい。リーダーは行政に頼り切りでなく、常日頃実践することを心がけ、自ら住民の心を揺さぶり、感動と感謝のムードづくりを最優先する。

(ウ) 受講者の感想

- ・ 以前より豊重氏のお話を伺いたいと思っていました。元気が出てきました。又伺いたいと思います。(60代・女)
- ・ 公民館館長（駅前公民館）としての目標ができました。(70代・男)
- ・ 改めて地域活性等について考えさせていただきました。機会がありましたら、続編として講座を設けていただきたい。(60代・男)



講師：豊重 哲郎 氏



講座の様子

キ 「大学の先生が半世紀前に受けた鹿児島の食育」

(ア) 講師

マイ食品開発研究所 吉元 誠 代表

(イ) 内容

- ① 子供の頃おやつ作りをした経験のある学生は
 - ・ 心の健康度が有意に高い。
 - ・ 人生に対して前向きな気持ちが強い。
 - ・ 現在の自分に達成感や自信、至福感がある。
 - ・ 近親者や社会が自分を支えてくれているという感覚を持って暮らしている。(食事の手伝いの経験の有無も同じ。)
- ② サツマイモは昔から機能性食品
 - ※ 健康の維持増進には、機能性成分が必要
 - ・ ご飯100グラムと比較した場合、食物繊維、カリウム、カルシウム、カロチン、ビタミンB、ビタミンC、ビタミンEの含有割合が多い。
- ③ 加工食品と安全性～トランス脂肪酸の摂取を控える～
 - ・ 心筋梗塞やガン、糖尿病にかかるリスクが高くなる。
 - ・ トランス脂肪酸を多く含む食べ物～マーガリン、カップラーメン、スナック菓子、チョコレート、クッキー、フライドポテト、冷凍チキン等
- ④ 長生きの秘訣
 - ・ 太りすぎない。・ タバコを吸わない。・ 歩け歩け、ひたすら歩け。
 - ・ 最後に、いつまでも現役で。

(ウ) 受講者の感想

- ・ 何を買うか、どんな調理をするかよく考えて健康に良い食生活を送りたいです。(40代・女)
- ・ 自分の食生活を見直す機会となり、また、子供達への食育のアドバイスの参考になりました。毎回毎回、興味深く受講しました。(60代・女)
- ・ 食育について改めて考えさせられました。家族で健康になりたいです。(40代・女)
- ・ 予想をはるかに上回る内容で大変勉強になりました。(60代・男)



講師：吉元 誠 氏



講座の様子

ク 「伸びる子に育てる」

(ア) 講師

鹿屋体育大学 中本 浩揮 准教授

(イ) 内容

- ① 一流から学ぶ10年1万時間の過ごし方
 - ・ ただ練習をすればいいということではない。意図的・計画的練習を10年1万時間行うことが大事である。
 - ・ 意図的・計画的練習には、高いやる気(意志力や忍耐力)と明確な目標が必要である。
- ② 子供の能力感を探る
 - ・ 自己参照による課題目標を持たせる。～今日は〇〇ができるようになった。明日は〇〇ができるようにしましょう。～
- ③ 子供の能力感を課題思考へと変えることが大事
 - ・ 周囲の大人の価値観が、努力・熟達志向であると課題目標につながる。
- ④ 一流から学ぶ努力の方法
 - ・ 学習方法や練習方法を自分で考えること(指導者が提示した選択肢の中から選ぶことも有効)この自己決定、自己選択が学習(練習)効果、やる気を高める。
- ⑤ 伸ばす指導者の指導の特徴
 - ・ 答えを与えるのではなく、自分で正答を引き出せるように導く。
 - ・ 質問で育てる。考えさせて育てる。

(ウ) 受講者の感想

- ・ 誉め方の大切さを改めて考えさせられました。努力を惜しまず、努力している姿を誉めながら育てていきたいです。(40代・女)
- ・ 子育て及び少年団指導で、役立てたいと思いました。ありがとうございました。(30代・女)
- ・ スポーツの話ではありましたが、生活のいろいろな場面に生かせると思いました。(40代・女)
- ・ これまで信じていたことに科学的な論拠を示していただき、確信に変わりました。(40代・男)



講師：中本 浩揮 氏



講座の様子

3 かがしま県民大学連携講座

1 概要

(1) 趣旨

多様化・高度化する県民の生涯学習ニーズに応えるために、大学等などの教育機関，市町村等の公的機関，民間の団体等と中央センターが連携して，生涯学習の機会を広く提供するために公開講座等を実施する。

(2) 対象者

県民(年齢は問わない)

(3) 連携可能な機関・団体等

次のいずれかに該当するもの。

- ・ 大学，短期大学，高等専門学校，専修・各種学校
- ・ 国・県及び市町村等の公的機関
- ・ 鹿児島県内に主たる事務所を有する民間教育機関の事業者
- ・ 鹿児島県内に主たる事務所を有する生涯学習の推進に資するNPO法人
- ・ 中央センター主催講座修了生等が結成した自主活動グループ
- ・ その他，生涯学習の推進に資する団体

(4) 申請できる講座の条件

次に示す内容のうちいずれかに該当するもの。

- ・ 申請者の独自性・専門性を生かした内容のもの
- ・ 県民のニーズの高いもの
- ・ 郷土鹿児島の地域性のあるもの
- ・ 社会的に必要と思われる内容

ただし，次の内容を含む講座は除く。

- ・ 営利を目的とする講座(事業や物品の広報，人材の勧誘や募集活動等も含む。)
- ・ 特定の政党，宗教，宗派の利害を目的として開催される講座
- ・ 公序良俗に反する講座

(5) 会場

交流センター及びその他の会場

(6) 会場使用料

交流センターを使用する場合は，「かがしま県民交流センターの設置及び管理に関する条例施行規則第9条第1項第1号」により使用料全額免除とする。その他の会場で開催する場合は，申請者の負担とする。

(7) 受講料

受講料は，著しく高額とならないことを基本とし，中央センターとあらかじめ協議を行って決定する(必要な材料費，テキスト代等の実費は，受講者負担とすることができる)。

(8) 開催時間等

連携講座実施機関の設定した時間(但し，交流センターの閉館日を除く。)

2 講座内容等一覧

(1) 大学等

No.	実施機関	No.	講座名及び内容など	期 日	回	会 場	定員	受講者数		
								小計	合計	
1	鹿児島大学	教育学部	1	楽しい合唱表現～発声の基礎から学ぶ～	9/3(木)～ 10/1(木)	4	スタジオ	各 20	43	596
			2	鹿児島大学県民のための演奏会2015 「北欧・ロシアのピアノ作品とメサイアの世界」	7/16(木)	1	県民ホール	500	286	
		理学部	3	現代天文学に基づく宇宙人の存在環境	6/20(土)	2	大研2他	各 60	108	
			3	宇宙を学べる大学 in 九州	7/5(日)					
		農学部	4	森林環境教育指導者養成講座	8/1(土)・2(日)	3	高隈演習林	各 15	36	
					1/23(土)・24(日)					
			2/28(日)			20				
共同獣医学部	5	動物の生命(いのち)と人との係わり	11/14(土)	1	大学構内	180	45			
大学院医歯学 総合研究科	6	革新的治療の研究と応用の展望	7/31(金)	1	中ホール	300	78			
2	鹿屋体育大学	7	みんなで貯筋	10/6(火)	1	中研1	54	41	41	
3	鹿児島国際大学	8	国際文化学部「知の試み in Kagoshima」	5/23(土)～ 12/5(土)	5	小研2他	各 40	140	402	
		9	鹿児島歴史の旅～鹿児島の幕末～	1/23(土)	1	中ホール	220	262		
4	志學館大学	10	中高年のためのつかって、わかる！ パソコン講座～簡単！絵手紙を作ろう～	8/1(土)・ 2(日)	2	大学構内	各 30	31	42	
		11	身近になった相続税	9/5(土)	1	小研2		11		
5	鹿児島純心女子大学	12	さわやか健康栄養講座	10/3(土)～ 11/28(土)	5	大学構内	各 50	96	96	
6	鹿児島県立短期大学	13	生活環境とデザイン	5/23(土)～ 7/11(土)	8	短大構内	各 60	206	206	
7	第一幼児教育短期大学	14	第一幼短芸術講座	テラコッタ彫刻	9/5(土)～ 9/19(土)	4	短大構内 上床利秋 アトリエ	各 10	43	62
				大人ののためのピアノ講座	10/24(土)					
		15	第一幼短親子体験講座	1/16(土) 2/13(土)	2	短大構内	各 20	15		
8	鹿児島純心女子短期大学 江角学びの交流センター	16	かごしま学 公開講義～桜島の今後の大規模噴火について考える～	7/2(木)	1	短大構内	200	197	259	
		17	人間大学「現代を生きる知恵」	7/4(土)～ 9/19(土)	4	小研1他	各 20	62		
9	鹿児島女子短期大学	18	これからの子育て	8/19(水)・ 20(木)	2	短大構内	各 30組	110	493	
		19	くらしと文化講座	10/3(土)	1	短大構内	30	181		
		20	高齢者の健康づくり講座	7/4(土)～ 11/21(土)	7	短大構内	各 30	202		
10	放送大学鹿児島学習センター	21	奄美大島地域における放送大学 鹿児島学習センター公開講座	4/19(日)～ 12/13(日)	4	奄美図書館	各 80	114	517	
		22	ナイチンゲール再考	7/19(日)	1	放送大学	80	35		
		23	健康危機と地域におけるリスクマネージメント、 記紀神話と南薩の浜下り～万之瀬川の 屈曲が意味するもの～	8/9(日)	1	南さつま市	80	146		
		24	学習意欲の見方・導き方、 社会を支える社会技術の発達とその影響	1/17(日)	1	放送大学	80	92		
		25	枕草子～どうして「春は曙」となるのか～	2/14(日)	1	大研3	80	130		
11	鹿児島工業高等専門学校	26	かごしま小水力発電セミナー	5/23(土)・ 11/28(日)	2	大研1	各 100	143	453	
		27	鹿児島高専のおもしろ実験教室	8/12(水)	1	工芸室	20	37		
		28	再生可能エネルギー技術セミナー	9/12(土)	1	大研1他	50	103		
		29	高専ロボットと音楽会	12/20(土)	1	中ホール	400	170		

(2) 行政機関等

No.	実施機関	No.	講座名及び内容など	期 日	回	会 場	定員	受講者数 小計	合計
12	県立青少年研修センター	30	クラフト活動 昆虫クラフト クリスマスミニリース	11/8(日)・ 12/5(土)	2	工芸室	各 40	79	79
13	南薩少年自然の家	31	クラフト活動 サンドグラス サンドアート	11/28(土) 午前・午後	2	工芸室	各 30	61	61
14	県民生活局 長寿・生きがい推進室	32	かごしまねりん大学 フードの基本 フードの基本・応用	11/18(水)・ 12/9(水)	2	制作演習室	各 70	59 59	118
15	上野原縄文の森	33	出土品から 見た鹿児島 縄文の顔料作りに挑戦	9/19(土)・ 2/27(土)	2	大研3他	108 45	46	46

(3) 教育団体

No.	実施機関	No.	講座名及び内容など	期 日	回	会 場	定員	受講者数 小計	合計
16	鹿児島県マルチメディア 教育研究会	34	メディア教育セミナー	8/7(金)	1	大ホール	110	130	130
17	県視聴覚教育研究協議会	35	県放送教育・情報教育研究セミナー	2/5(金)	1	大研2	30	30	30
18	鹿児島県高等学校教育研 究会 視聴覚・情報教育部 会	36	高等学校視聴覚・情報教育研究セミナー	7/10(金)	1	制作演習室	30	18	18

(4) NPO法人

No.	実施機関	No.	講座名及び内容など	期 日	回	会 場	定員	受講者数 小計	合計
19	日本予防医学推進協会	37	アンチエイジング医学講座 ～何歳からでも体はつくりかえられる～	4/11(土)～ 10/24(土)	5	中研2他	各 50	44	44
20	かごしま遺伝子活用普及 協会	38	やさしいDNA・遺伝子の講座	8/29(土)～ 10/10(土)	5	パソ研2他	各 30	87	87
21	NPOかごしまネットワー ク会議	39	かごしまの土人形講座	4/25(土)～ 7/18(土)	5	陶芸制作室	各 15	27	27
22	みどりの風かんかん	40	里で知る季節の植物と生き物観察	5/2(土)～ 12/13(日)	6	鹿児島市	各 20	203	203
23	global	41	大人の英語絵本読み聞かせ講座 ～英語で読めちゃう!!“ぐりとぐら”～	10/3(土)～ 10/24(土)	4	パソ研1	各 20	19	19
24	鹿児島ASC	42	1日で覚えるタブレット基礎講座	4/21(火)～ 12/22(火)	5	小研1	各 15	89	89

(5) 自主グループ等

No.	実施機関	No.	講座名及び内容など	期 日	回	会 場	定員	受講者数 小計	合計
25	一般財団法人 メディポリス医学研究財団	43	陽子線治療・指宿でのチャレンジ	8/22(土)～ 2/20(土)	3	大研3他	各 100	134	134
26	鹿児島県JICA派遣専門 家連絡会	44	国際的な水産協力	9/26(土)・ 10/3(土)	3	小研2	各 50	18	18
27	鹿児島県鉱石展示室	45	東シナ海の境界問題と海底資源	4/4(土)・ 4/25(土)	4	小研2	各 30	92	92
28	鹿児島弁フェスタ実行委 員会	46	鹿児島弁フェスタ おもてか鹿児島弁劇 鹿児島弁にまつわる作文朗読会 鹿児島弁検定	9/6(日)～ 10/18(日)	4	鹿屋市 いちき串木野市 伊佐市 中ホール他	各 60 40 200	58 46 20 146	270
29	韻天流天吹塾	47	自作の天吹で音色を楽しむ講座	5/20(水)～ 7/22(水)	5	リハ室他	各 15	92	92
30	伝承遊びと創作遊びを 育てる会	48	むかし遊びで身体と脳を活性化	5/17(日)	1	工芸室	各 15	3	3
31	上町健康大学	49	高齢医療の地域サポーター養成講座	5/16(土)～ 2/20(土)	5	大研1他	各 100	259	259
32	論語を学ぶ会	50	論語講座	8/26(水) 10/2(金)～ 11/27(金)	4	大研4 小研2	100 各 20	36 65	101
33	健康サポート笑福	51	体幹・骨盤を整えるストレッチ講座	12/5(土)～ 2/27(土)	5	絵画制作室	各 10	18	18
34	絵を楽しむ会	52	色遊びではじまる絵画講座	4/3(金)～ 5/8(金)	4	絵画制作室	各 10	18	18
35	金曜会	53	金曜会人物画講座	4/10(金)～ 6/12(金)	5	絵画制作室	各 15	55	55

(6) (1)～(5)の総計

講座数 53 講座講座回数 154 回受講者数 5,178 人

3 成果・課題及び受講者の感想(各団体実施報告書からの抜粋)

(1) 成果

- ・ 受講者は毎回前向きに受講してくれました。活発に意見が出されました。
- ・ 参加者は全員熱心に講師の話に聞き入っていた。質問にも講師が丁寧に答えていた。
- ・ 思った以上の人数が集まってくれた。歴史に興味のある方が多く、質問もたくさん出た。参加者の理解が深まったと思われる。
- ・ 少しずつであるが描写力・デッサン力の高まりが見られた。
- ・ 身近な鹿児島の方言について考える機会を設けることができた。
- ・ 現代天文学に基づいた宇宙人の存在意義を、分かり易くかつ面白くお伝えすることができ、天文学について興味を持っていただく良い機会となった。大学における研究・教育活動の一部を知っていただける場にもなったと思われる。
- ・ デザインが持つ力と役割を知り、よりよい身近な環境の姿を考えるとともに、実技やワークショップを体験して、デザイン力を身に付けることができた。
- ・ 参加者からは、講師の分かり易く、ゆっくりとした口調の話し方が良かったという意見があった。
- ・ 毎回熱心に練習に取り組んでいただいた。
- ・ 学生が補助員となりサポートしたことが好評だった。
- ・ 本講座は初めての受講生が多く、今後学校での教育活動で活用されていく予定である。
- ・ 募集定員を超える参加者があり、大変盛況で活気のある教室となった。
- ・ 主催者が期待していた親子の絆を深め、子どもの自主性や豊かな感性を育てる遊びの提供ができたと考える。
- ・ DNAや遺伝子のテーマは市民に興味ある大切な課題であると改めて思い知った。
- ・ 1冊の絵本を英語で読み聞かせができるようになったことで、それぞれの参加者が、家庭で、職場で、講座で得たスキルをすぐに実践できた。国際社会に向けた地域作りに寄与できた成果である。
- ・ 今後も連携講座を通してより多くの県民の皆様に陽子線治療の普及と理解につなげていきたい。
- ・ 講師による精査な調査に基づいて、日本の火山活動全般について、また、近い将来桜島の大規模な活動が起こることは必然であり、それに対する防災の備えが大切であることの理解が深まった。
- ・ 本講座は十数年継続して実施してきており、リピーターも増えている。今後これから高齢化が進む社会において、高齢者向けの教養講座・いきがい作りに寄与する生涯学習事業を継続していきたい。
- ・ 学習を通して、今のままではいけないという参加者の意識変容につながった。意識が変わると自分の健康は自分で作るという主体的な行動に変わり、ますますイキイキ元気になっていきます。今回の講座で自立した人が増えたことによって、長い目で見ると医療、介護にかかる費用の負担も抑えられたと思います。
- ・ 俳句の魅力・楽しさを、制作を通して体験できる講演ができた。参加者が俳句を英語で活動的に議論する姿が見られた。
- ・ たくさんの応募があった。新聞による告知と講師自身のfacebookや、関係団体への参加呼びかけは役に立った。
- ・ 広報した割には参加者が思ったより少なく残念であったが、非常に熱心に聞いていただき、質問も多く、本講座は成功のうちに終わり、手応えを感じました。
- ・ 昨年の成果を元にして講座のテーマを検討し、実施した。結果、定員に近い数の参加があり、参加者からの満足度や評価も高く、受講生のニーズに合ったものであったと思われる。
- ・ 本学の、文学・歴史・経済・食・住・健康などの幅広い分野で教養を高め、暮らしを豊かにするという目的は、参加者の満足度が高いことから、達成できたと考える。
- ・ 今回も定員を上回る参加者となりました。受講された方は、今後、タブレットを使い、ICTを、実生活や災害対策等に活用されることが期待されます。また、サイバーセキュリティについての知識を身に付けることもできたようです。

(2) 課題

- ・ 新規の受講者をいかに増やしていくかが課題です。講座の題材を工夫していくことが大切だと考えます。
- ・ 資料の数が不足する場合もあるので参加者の人数をしっかりと把握しておくことが大切であった。
- ・ 部屋の希望は適当であったが、ご高齢の聴講者への対応を考えると、スクリーンについてはもう少し大きい物があった方が良かったかもしれないと思った。
- ・ 広報についてもっと積極的に活動していれば、もっと多くの方に参加頂けることとなったと思う。限られた予算や時間の中、どのような広報媒体へ、どのような広報活動をかけていくのかが課題である
- ・ 市民への効果的な広報活動を実施する必要がある。
- ・ 梅雨時期の開催で天候に恵まれなかった。
- ・ 今後さらなる広報の充実に努める必要がある。
- ・ 学習者のスキルや目的が様々である上に年齢層も広く同時進行が大変だった。目的や年齢、経験などに応じた講座の実施、一つの講座の実施回数の検討が課題である。
- ・ 開催時期、内容等を検討して、受講者が増えていくようにしたい。
- ・ 内容が少し難しく、小学生の参加者にも分かるような平易なものになるように工夫が必要である。参加希望が多く、グループで実験を行うなど、募集定員を増やせないかの検討を行いたいと思う。
- ・ 開講の時期・回数と講座開始時間の検討をしたい。
- ・ 座学だけでなく実技指導の時間も必要だと考えた。
- ・ 各所に広報のためのチラシやポスターを掲示したが掲示期間に制限がある場所が多く、途中で掲示を中止する場所があった。講座の開催をいかに広く市民に宣伝するかにつきと思った。
- ・ 広告機会の拡充を進めてほしい。
- ・ PR活動を積極的に行うとともに、社会のニーズに合わせたテーマの選定を練り直す必要がある。
- ・ 行政や地域と連携しながら講座を行う場所を作り、健康意識の向上の和を広めることが必要であると思った。
- ・ 定員を上回る応募に対しての対応。
- ・ 参加予想がつきにくく、資料が足りなくなった。
- ・ 要望として、VHSの使用の準備をしてほしい。参加者を増やすためにも広報の在り方を検討してほしい。
- ・ 参加対象者に合わせた特性（歩行困難や聴覚障害等）は検討していくことが必要である。
- ・ 同時期に複数の講座を開講する形をとったが、講座の参加者にばらつきがあった。
- ・ 受講者の持参タブレットにおいては、Wi-Fiへの接続やストアからのアプリダウンロードができるまでの設定に多くの時間を要します。講師自身やサポーターを予定より多く配置することで対応してきましたが、今後はその空白時間をビデオ教材等により有効に進めたいと思います。
- ・ 活動を午前午後と分けたことで、参加者から好評をいただいた。
- ・ 参加者が市内在住の方が多く、普段遠距離のために参加することが困難な方から大変喜ばれた。

(3) 受講者の感想

ア 大学等が実施した講座について

- ・ 文化の特性に気付かされた。地域のことをもっと知りたいなどの感想が出された。
- ・ リーダー論は水産業に限らずどの分野にもつながることだと思った。具体性があり大変勉強になった。
- ・ 初心を思い出し、実務に取り組もうと思った。自宅の高齢の両親のために講演の内容が大変ためになった。
- ・ 講演会開催のチラシを県内の病院に送付し広報に努めたが、看護師の参加者は半数だった。

- ・ 実生活で生かしたい。または是非このような講座を実施してほしいとの要望や感想を多数いただいた。
 - ・ 受けたい講座が重ならないようにしてほしい。どの講座も受けたかった。
 - ・ もっと時間を延長してほしい。
- イ 行政機関が実施した講座について
- ・ 他校での取組が学べた。とても分かり易かった。
- ウ NPO, 自主グループ等が実施した講座について
- ・ 回数を増やしてほしい。
 - ・ 今後とも生活や私たちの身近な話題を提供していただけますことを期待しています。
 - ・ どの回も面白い内容で勉強になりました。
 - ・ 新聞を見て参りました。何でも知識が増えることはいいことだと思います。
 - ・ 心と体についてなかなか日頃考えることなく過ごしている自分に気が付きました。いろいろなことを意識しながら生活していく大事さを学べて良かったです。

4 講座の様子



子どもの自立を支える読書活動
(鹿児島国際大学)



「俳句のユネスコ無形文化遺産登録に向けて」(鹿児島国際大学)



「昆虫クラフト」作製講座
(県立青少年研修センター)



「続発する日本の水蒸気噴火。そして桜島噴火を考える。」(鹿児島純心女子短期大学)



アンチエイジング医学教室 (NPO法人日本予防医学推進協会)



生活環境とデザイン (鹿児島県立短期大学)



現代天文学に基づく宇宙人の存在環境 (鹿児島大学理学部)



一日で覚えるタブレット基礎講座 (特定非営利活動法人鹿児島ASC)



鹿児島弁フェスティバル(鹿児島弁フェスティバル実行委員会)

5 総括

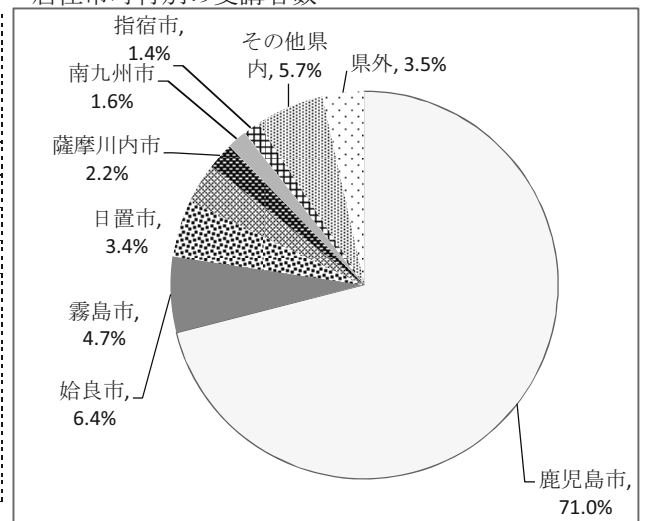
(1) 連携先、講座、受講者の数

連携先		連携先 件数	講座数	実施回数	受講者数
大学等	大学	5	12	27	1,177
	短期大学	4	8	29	1,020
	放送大学	1	5	8	517
	高等専門学校	1	4	5	453
行政機関 等	県	3	3	6	258
	市町村	0	0	0	0
	公益財団法人	1	1	2	46
民間教育機関	3	3	3	178	
NPO法人	6	6	30	469	
自主グループ	11	11	44	1,060	
合計	35	53	154	5,178	

(2) 受講の状況(居住市町村別の受講者数)

市町村等	講座の実施時間帯別受講者数					居住市町村別 受講者数	
	平日		土曜日	日曜日	土日 連続	合計	割合
	昼間	夜間	昼間	昼間			
鹿児島市	78	83	321	87	0	569	71.0%
始良市	6	4	35	6	0	51	6.4%
霧島市	2	5	18	13	0	38	4.7%
日置市	3	5	13	6	0	27	3.4%
薩摩川内市	4	4	9	1	0	18	2.2%
南九州市	1	0	6	6	0	13	1.6%
指宿市	3	0	7	1	0	11	1.4%
その他県内	5	1	28	12	0	46	5.7%
県外	0	5	15	8	0	28	3.5%
合計	102	107	452	140	0	801	100.0%
割合	12.7%	13.4%	56.4%	17.5%	0.0%	100.0%	

居住市町村別の受講者数

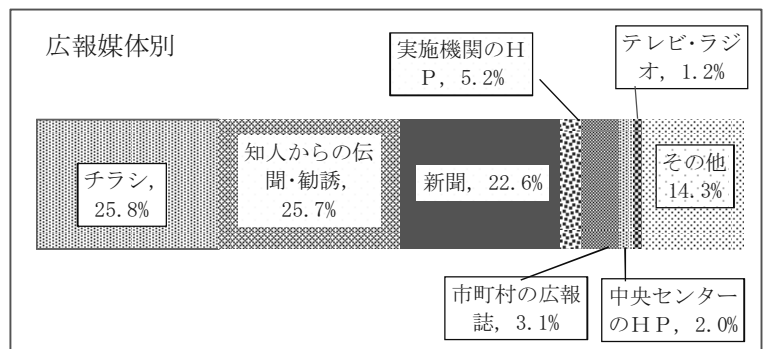


※ 交流センター会場の受講者から抽出したモニター結果

(3) 講座情報入手の状況

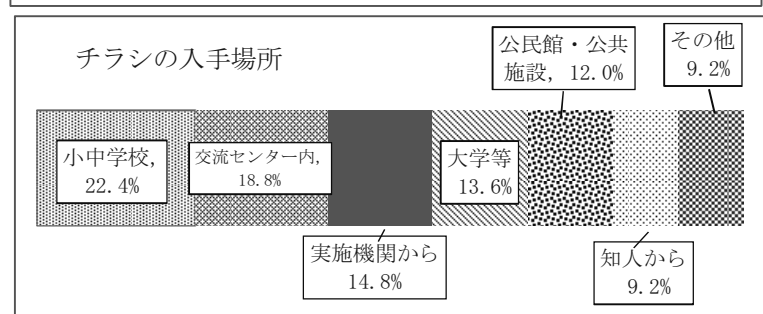
ア 広報媒体別

広報媒体	受講者数	割合
チラシ	232	25.8%
知人からの伝聞・勧誘	231	25.7%
新聞	203	22.6%
実施機関のHP	47	5.2%
市町村の広報誌	28	3.1%
中央センターのHP	18	2.0%
テレビ・ラジオ	11	1.2%
その他	129	14.3%
合計	899	100.0%



イ チラシの入手場所

場所	受講者数	割合
小中学校	56	22.4%
交流センター内	47	18.8%
実施機関から	37	14.8%
大学等	34	13.6%
公民館・公共施設	30	12.0%
知人から	23	9.2%
その他	23	9.2%
合計	250	100.0%



※ 交流センター会場の受講者から抽出したモニター結果

4 メディア研修講座

1 概要

(1) 趣旨

ア 県民対象研修講座

生涯学習の指導者や指導補助者として教育メディアを活用できる人材を育成するため、チラシづくりやビデオ制作などの講義・実習等を通して、資料作成や情報発信に役立つ知識・技術の習得を目指す。

イ 教育関係者対象研修講座

学校や市町村で「教育の情報化」に対応できる指導者を育成するため、コンピュータやビデオを用いた教材の制作や活用に関する講義・実習等を通して、指導法の改善や学習指導力の向上を図る。

(2) 主催

中央センター（連携講座については、中央センター及び連携先）

(3) 指導者

中央センター指導主事等

(4) 場所

交流センター（西棟5F制作演習室）

2 講座内容・実施状況

(1) 県民対象研修講座 7講座（●県民生活局 長寿・生きがい推進室との連携）

No	研修講座名	期 日	主 な 内 容	受講者	延受講者
1	ビデオ撮影・編集基礎講座～パソコンで広げるビデオの世界～	5/30(土)・31(日)	<ul style="list-style-type: none"> 効果的なカメラワーク ノンリニアビデオ編集 ビデオ作品の制作と評価 	16	32
		7/ 4(土)・ 5(日)		16	31
		9/ 5(土)・ 6(日)		11	22
2	ビデオ撮影・編集実践講座～ふるさとの祭りを撮ろう～	11/ 3(火)・22(日)	<ul style="list-style-type: none"> 撮影の実際 ノンリニアビデオ編集 ビデオ作品の制作と評価 	16	32
3	ふるさとのよさをビデオに～制作から情報発信まで～	5/17, 6/7, 6/28(日)	<ul style="list-style-type: none"> 実践者の講話 映像構成と撮影の実際 ビデオ作品の制作と評価 	16	43
4	地域活動に役立つパソコン活用術Ⅰ～ワード・エクセルによる広報紙・名簿づくり～	6/12, 19, 26(金)	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙づくりのポイント 書式設定と画像・図形挿入 表計算データベース機能の活用 	16	43
5	地域活動に役立つパソコン活用術Ⅱ～パワーポイントによる資料提示～	12/4, 11(金)	<ul style="list-style-type: none"> 効果的なプレゼンテーションの方法 プレゼンテーション資料制作 プレゼンテーションの実際 	24	48
6	あなたが広げるデジカメ活用術～撮影や画像処理をとおして～	4/18(土)・19(日)	<ul style="list-style-type: none"> 静止画の取り込みと整理 画像処理ソフトによる画像の補正・加工と活用 	24	48
		10/17(土)・18(日)		24	47
● 7	かごしまねりん大学 地域デビュー総合コース パソコン実技講座Ⅰ～Ⅱ	11/18, 12/9(水)	<ul style="list-style-type: none"> ワードによる年賀状づくり 表計算データベース機能の活用 インターネットによる情報収集 	59	118
県民対象講座受講者合計				222	464






(2) 教育関係者対象講座 8講座（■教育関係団体との連携）

No	研修講座名	期 日	主 な 内 容	受講者	延受講者
1	教育メディア担当者研修会	5/28(木)	<ul style="list-style-type: none"> 教育メディアに関する講演 フィールド事例発表と研究協議 	18	18
2	わが町アップロード～ミニムービーの撮影と編集～	9/18(金)	<ul style="list-style-type: none"> 映像素材のを見つけ方 ビデオ撮影・編集の実際 作品の相互評価 	8	8

3	ビデオ教材制作研修講座～撮影・編集とネットでの共有～	8/5(水)・6(木)	・効果的なカメラワーク ・ビデオ教材の制作 ・制作教材の評価	11	22
4	デジタルコンテンツ制作研修講座～教育メディアで創る分かる授業～	7/30(木)・31(金)	・教育メディア活用の意義 ・静止画・動画コンテンツの制作 ・授業での活用	18	36
5	教育メディア研修(中級)講座	8/18(火)～20(木)	・教育メディア総論 ・デジタルデータの活用と統合 ・ビデオ撮影とノンリニア編集 ・プレゼンテーションの実際	6	18
■ 6	メディア教育セミナー(鹿児島県マルチメディア教育研究会)	8/7(金)	・情報教育に関するシンポジウム ・情報教育に関する講演 ・情報教育指導の事例発表	130	130
■ 7	県放送教育・情報教育研究セミナー(県視聴覚教育研究協議会)	2/5(金)	・放送教育・情報教育に関する講演 ・放送教育・情報教育に関する実践発表	30	30
■ 8	高等学校視聴覚・情報教育研究セミナー(県高等学校視聴覚・情報教育研究部会)	7/10(金)	・視聴覚教育に関する講演 ・視聴覚教育に関する研究協議及び実習	18	18
教育関係者対象講座受講者合計				239	280
メディア研修講座合計				461	744

3 受講者の感想等

(1) 県民対象研修講座

<p>① ビデオ撮影・編集基礎講座 ～パソコンで広げるビデオの世界～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 機材を実際に使ったり、自分で撮影したり、座学だけではなく実践的であったこと。普段、苦手だった部分を基礎から学ぶことができて、大変ありがたく思います。 ○ これまで撮りためた写真やビデオを編集して、DVDに記録として残していきたい(旅行の思い出、自分自身の歴史など)。 ○ 各種ボランティア活動の記録をし、活動の仲間、町内の方々へ紹介し、楽しんでもらいたい。 	
<p>② ビデオ撮影・編集実践講座 ～ふるさとの祭りを撮ろう～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ おはら祭り会場で迫力ある映像を踊り連のすぐ近くから撮影することができて、大変よかった。 ○ 撮影・編集の作業の中で作品を仕上げるのにちょっと苦労したが、同じ受講生で相互に教え合うことができたので心強かった。 ○ この講座で学んだことを生かして、県内外のイベントや祭り等、これからの地域の情報発信に努力していきたい。 	
<p>③ ふるさとのよさをビデオに ～制作から情報発信まで～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 先生方がとても優しく丁寧に指導していただき心より感謝している。共に作っていきましょうという姿勢に感銘を受けた。 ○ 懇切丁寧な講義で満足している。撮影から編集までの流れがつかめるなど受講した目的が達せられた。 ○ 古里の伝統や景観等を作品として残し、地域の資産を多くの人に伝えていきたい。 	
<p>④ 地域活動に役立つパソコン活用術Ⅰ～ワード・エクセルによる広報紙・名簿づくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ この春から地域のコミュニティの支援員としてパソコンを使う機会があり、名簿作りのリストのところとか非常に参考になりました。 ○ 案内状、名簿作りなど地域で活用できるよう頑張りたいと思います。 ○ ワードやエクセルを使って、地域の町内会活動報告及び民生委員定例会での資料作成に生かしていきたい。 	
<p>⑤ 地域活動に役立つパソコン活用術Ⅱ～パワーポイントによる資料提示～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今回の経験を生かし、更なるスキルアップを図り、各種会議等においてプレゼン資料を活用したい。 ○ 自分史ガイド(見習い)をしているので、仲間の自主勉強会で本番に備えた説明練習に使いたい。 ○ 町内会の班長の仕事に役立てられたらと思う。 	

- ⑥ あなたが広げるデジカメ活用術 ～撮影や画像処理をとおして～
- デジカメの使用法で今まで使ったことのない機能を教えていただき、活用が広がった。写真管理や補正など色々なテクニックが学べてよかった。
 - いつも写真はオートで撮影していたので、明るさやシャッタースピード等おまかせではなく、自分なりの写真を撮影していきたい。
 - 心動かされたものを撮影し、生活にうるおいがでるように活用していきたい。写真を意識しながら生活することで、気付きのある毎日を過ごしていきたい。



- ⑦ かがしまねりん大学地域デビュー総合コース パソコン実技講座Ⅰ～Ⅱ
- ワード・エクセルを少し経験していたが、基本から教えていただいてよく分かった。老人会の会計をしているので表計算を生かしていきたい。
 - オートSUMの中に平均や最大値があることが分かった。インターネットの情報モラル教材のインターネットショッピングは初めてであり、楽しめた。情報モラルも改めて気を付けようと思った。



(2) 教育関係者対象研修講座

- ① 教育メディア担当者研修会
- 視聴覚教育関係施設の役割、視聴覚ライブラリーの運営、活用、教育メディア研修の運営など、こと細かに説明していただき、大変参考になった。
 - 新しい視聴覚教材管理システムについては、実際にやってみないと分からない部分もありますが、うまく活用できたら便利になるのではと感じました。
 - 他市の現状が分かってよかった。参考になる部分も多かった。



- ② わが町アップロード ～ミニムービーの撮影と編集～
- 業務でDVD作製をするので、見やすく分かりやすいものを（見る側の立場にたって）作っていききたい。
 - YouTubeへのアップロードは、初めての経験でした。大変感動しました。公民館活動をYouTubeへアップロードして地域活性化に努めていきたい。
 - 町主催の成人式のビデオ制作に生かしていきたい。



- ③ ビデオ教材製作研修講座 ～撮影・編集とネットでの共有～
- 実際に自分たちで撮影に出かけ、それを編集することで「与えられたものを作る」や「聞く」だけでない楽しさがありました。また、実際に自分の力になった。
 - 作った作品を互いに発表し合うのは、自分にはないアイデアがあっけおもしろかった。
 - 学校の行事などを撮影したものを今回学んだことを生かしてひとてまかけて、子どもたちや保護者に見せたいです。



- ④ デジタルコンテンツ制作研修講座 ～教育メディアで創る分かる授業～
- デジタルカメラ撮影のコツや撮影技法等の詳しい説明があり、それを実際の演習で体験できたことが、大変分かりやすかった。
 - デジタルコンテンツを難かしいものと考えず、日々の授業の中に手軽に使っていいこうと思った。意欲を高めるための手立てとして、より分かりやすい授業にするための指導方法改善に生かしていきたい。
 - デジタルコンテンツは学校現場で今後も大いに活用されるものであるので学校全体で学んでいけるような機会を設定していきたい。



- ⑤ 教育メディア研修（中級）講座
- 一人一台という恵まれた中で実技が多くとても勉強になった。
 - 学校での研修やメディア研修（初級）の講師の活動等を通して、この講座で学んだことを還元していきたい。
 - プレゼンテーションやムービーを仕事で使う機会が多いので、大いに生かしていきたい。公私とも有効に地域のために役立てていきたい。



5 視聴覚フロアの運営

1 シネマブースの運営

往年の名作などの優れた映画について、DVDオートチェンジャー式の映画鑑賞の機会を提供している。視聴するための手続及び留意点は以下のとおり。

- (1) 県民交流課でIDカード発行を申請し、このカードを6階受付に持参する。
- (2) 受付時間は9:00～16:00とし、映画鑑賞16:55まで。1日一人1回（145分以内）。
- (3) 個人視聴を原則とするが、親子・兄弟等は考慮する。
- (4) 目的外の使用及びブース内の飲食は厳禁とする。
- (5) 広く県民に公平に鑑賞する機会を提供する。

2 ハイビジョンシアターの運営

衛星映画劇場（NHK BSプレミアム）等の番組を鑑賞する機会を提供するとともに、文化芸術の振興を図ることを趣旨として、毎日13:00以降にハイビジョンシアターを開催している。

なお、映画視聴に最適な空間であるため、児童生徒の団体視聴や映画フォーラムとしての利用促進を図っている。



ハイビジョンシアター

3 映画シアターの運営（ファミリー映画会・アニメシアター・平日映画会）

視聴覚ライブラリーの教材を利用し、団体による映画鑑賞ができる。学校の遠足や校外学習，PTA，地域子ども会等でも無料で利用できる。鑑賞を計画する場合，事前に連絡が必要である。

平成27年度の団体による映画シアターの利用状況（平成28年3月末現在）は，35団体1,965人である。

また，毎週土・日曜日と祝祭日，長期休業中は，館内掲示の計画表に従い，アニメシアターを1日に2回開催している。毎月第4土曜日は，ファミリー映画会を年間計画に従って開催している。

平成23年度からは，平日映画会と銘打って，ふるさと「鹿児島」にかかわりのある作品や交通安全週間等，各種週間・旬間に合わせたプログラムを設定している。

【平成27年度のファミリー映画会の上映作品】

開催日	上 映 作 品
4月25日	劇場映画「次郎物語」(119分)
5月23日	綾小路きみまろ第3集(65分)，アニメーション映画「トムとジェリー008」(60分)
6月27日	劇場映画「サンゴレンジャー」(100分)
7月25日	16ミリアニメーション映画「魔女の宅急便」(102分)
8月22日	劇場映画「夏休みの地図」(96分)
9月26日	劇場映画「はだしのゲン」[第1部](107分)
10月24日	劇場映画「0(ゼロ)からの風」(111分)
11月28日	綾小路きみまろ第4集(65分)，アニメーション映画「チップとデール」(53分)
12月26日	劇場映画「鉄人28号」(114分)
1月23日	アニメーション映画「火垂るの墓」(88分)
2月27日	劇場映画「裸の大將放浪記～山下清物語」(120分)
3月26日	アニメーション映画「金子みすゞ やさしさの風景」(17分)，「ミッキーマウス001」(62分)

4 利用者の感想

施設名	感想
シネマブース	<ul style="list-style-type: none"> ○ 映画が好きで、時々利用させてもらっています。往年の名画から比較的新しい作品まで、楽しむことができるので、助かります。(70代 男性) ○ お母さんと一緒に「ドラえもん」の映画を観ることができ、とても楽しかったです。(小学校3年 女兒)
映画シアター	<ul style="list-style-type: none"> ○ ファミリー映画会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「火垂の墓」は、何回でも見たい映画で久しぶりに見ることができました。本当にありがとうございました。(70代 女性) ・ 「火垂の墓」は、すごくなしかったです。なみだがでました。(小学2年 男児) ・ 子供と長い時間見ることが難しいので、このようなシアター形式だと子供達も、集中してくれるので良い時間になりました。(20代 女性) ・ もう少し新しい映画も観たいです。(50代 男性) ○ アニメシアター <ul style="list-style-type: none"> ・ 「スプーンおばさん」は、自分が子供の頃のアニメなので、なつかしく子供と一緒に見れて良かったです。子供も喜んで見ていたので、また来たいと思います。(40代 女性) ・ 「トムとジェリー」は、子供も私も大喜びでした。無料でこんな楽しみ方があるなんてビックリです。(40代 女性) ○ 平日映画会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「防ごう！メタボリック・シンドローム 内臓脂肪をやっつけろ！」「綾小路きみまろ 爆笑！エキサイトライブビデオ 第2集」は、非常に面白く、考えさせたり、色々な思いが浮かび、人生を学ばせていただきました。今日が初めての鑑賞でしたが、今後は時々伺わせていただきます。(70代 男性) ・ 「防ごう！メタボリック・シンドローム 内臓脂肪をやっつけろ！」は、メタボ解消のために、食生活の改善と運動が大切であるということを感じました。特に生活活動代謝を有酸素運動であるウォーキングなどで効率的に上げていくことが必要と思いました。(50代 女性)
ハイビジョンシアター	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衛星映画劇場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 映画が好きでよく来て、観ています。上映予定表の配布があり、ありがたいです。(70代 男性) ○ 団体利用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ねぎぼうずのあさたろう」シリーズの映画、おもしろかったです。子供達も楽しそうに、観ていました。ありがとうございました。(市内幼稚園) ・ 幼稚園児が親しめる内容のもの…昔話で子供達も楽しめていた様です。会場内の広さもちょうどよく落ち着いて鑑賞できました。ありがとうございました。(市内幼稚園)



6階フロアー



ラウンジ



メディアブース



語学ブース

6 来所研修

1 趣旨

教育メディアに関する研究テーマや課題をもったグループ・団体又は個人が来所して、職員の指導・助言のもとに、理論研究や操作演習を通して問題解決を図り、併せて教育メディアの利用促進を図る。

2 対象及び内容

(1) 自主グループによる来所研修

ア 中央センターで実施しているビデオやパソコンに関する講座を受講した人を中心に活動しているグループを対象としている。

イ 平成28年3月現在、6グループが自主的に活動している。

(ビデオ関係3グループ・パソコン関係3グループ)

(2) 県民による個人での来所研修

ア 県民の研修については、原則として中央センターの講座修了者を対象とする。

イ 電話や文書で所属名・研修者氏名・研修内容を連絡してもらい、来所研修申込みを受け付ける。

(3) 学校教育・社会教育関係者による来所研修

ア 電話や文書で所属名・研修者氏名・研修内容を連絡してもらい、来所研修申込みを受け付ける。

イ 部活動や学級活動など児童生徒が来所研修する場合は、顧問の教員や担当者の同伴を条件とする。



制作演習室



パソコン演習室



ビデオ編集室

3 実施日

原則として、開館日の午前9時～午後5時とする。

ただし、休館日・研修講座開催日・業務に支障をきたすおそれのある日は除く。

4 成果

(1) 地域社会への貢献

各地域の美しい自然や優れた伝統芸能・地域行事等を映像化して、地域公民館や学校・教育機関等へ提供している。

(2) 指導者・サポーターとしての貢献

各市町村で行われる研修会等での指導者や中央センターで行う講座のサポーターとして活躍している。

(3) 県及び全国視聴覚教材コンクールへの出品

来所研修をしている方が制作したビデオ作品やパソコン教材が、県自作視聴覚教材コンクールに毎年多数応募されている。全国のコンクールに出品し、ここ数年高い評価を得ている。

(4) 自主グループ発表会「ふれあいメディアフェスティバル」の実施

自主グループの日頃の活動の様子や成果を発表し合い、お互いの交流や親睦を図ることによりメディア教育に関する知識や技術の向上が図られている。

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15	—	124	91	164	147	190	315	166	73	136	212	50	1,668
16	176	160	210	247	108	126	186	131	116	107	216	184	1,967
17	118	236	368	434	158	244	245	178	107	264	446	146	2,944
18	119	137	243	250	427	275	248	311	139	198	165	213	2,725
19	199	147	205	273	358	280	244	313	205	275	239	232	2,970
20	270	152	206	387	188	265	296	266	201	275	349	147	3,002
21	272	166	295	294	245	197	296	393	218	320	323	193	3,212
22	154	135	245	206	152	146	229	244	108	174	238	183	2,214
23	176	174	202	207	150	151	280	318	375	137	355	102	2,627
24	291	205	271	218	175	234	249	274	213	223	359	117	2,829
25	198	167	230	171	123	207	156	181	115	201	119	59	1,927
26	226	190	101	141	122	151	188	177	143	165	164	59	1,827
27	151	177	88	142	34	143	106	234	124	142	158	87	1,586

表 オープン当初からの来所研修による利用状況（平成28年3月31日現在）

Ⅲ 学習情報の提供

1 学習成果発表の場の提供

1 生涯学習団体等の作品展示(生涯学習ふれあい展示)

(1) 趣旨

県民が生涯学習として取り組んでいる創作・文化活動の成果を発表する場を提供するとともに、生涯学習に取り組む団体・個人の交流を促進し、本県の生涯学習のより一層の振興を図る。

(2) 平成27年度の利用団体

年	回	展示期間	展示団体等の名称(所在市町村)	内 容
平成 27 年	1	6月 2日(火) ～ 6月 7日(日)	炭遊び工房(鹿児島市) 兵六絵手紙教室(鹿児島市) エコクラフト手芸講座(垂水市)	竹炭アレンジペインティング等 絵手紙 エコクラフト
	2	8月 18日(火) ～ 8月 23日(日)	中央絵手紙友の会(鹿児島市) 川内拓本楽遊クラブ(鹿児島市) カントリードール(鹿屋市) 精神保健福祉ボランティアサークルゆめの実(鹿児島市)	絵手紙 歌碑・石碑の拓本 手作り人形 絵画, 絵手紙, 折紙等
	3	10月 14日(水) ～ 10月 18日(日)	吉野写友会(鹿児島市) 宮之城人形復興会(さつま町) ふたみ会(鹿児島市) マーガレット工房<南 昭子>(始良市)	写真 宮之城人形(土人形) 絵手紙 折紙の花, アクセサリー
	4	12月 15日(火) ～ 12月 20日(日)	鳥丸地区コミュニティ協議会(薩摩川内市) パステル和アートLASCAUX(鹿児島市) 薩摩川内市教育委員会(薩摩川内市)	木目込み人形(真多呂人形) パステルアート 里トンボロ作品, 中央公民館自主学級作品
平成 28 年	5	2月 16日(火) ～ 2月 21日(日)	竹細工-6(鹿屋市) 子ども美術教室・ピカソ(南九州市) 布恋人(鹿児島市) NPO鹿児島渚を愛する会(鹿児島市)	竹細工 絵画・工芸 シェルアート, 和小物, パッチワーク等 写真(渚, 海岸)